



はじめに

全国的に豪雪地として知られる魚沼市は、昔からスポーツが盛んな地域です。これまで大相撲元小結の大豊関（現在、荒汐親方）をはじめ、冬季を中心に6人のオリンピック代表など多くのトップアスリートを輩出してきました。また、平成21年には、「トキめき新潟国体」のバレーボール競技が開催されました。

近年、少子高齢化、人口減少社会や介護保険給付費の増加などの課題が増大しているため、スポーツを通じた健康増進を図るなど、これまで以上に知恵を絞りスポーツを推進していかなければなりません。市民一人ひとりが運動やスポーツの時間、空間、仲間を確保し、行動していくことが重要となっています。

また、本計画の中間期に、2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、全国的にスポーツへの関心が高まっています。これを契機に一層スポーツを推進し、スポーツ人口の拡大と健康社会実現に向けた施策の展開が求められています。

魚沼市は、平成18年3月に「魚沼市スポーツ振興基本計画」を策定し、市民にスポーツの普及を図ってきました。これからは、夢に向かって挑戦する競技スポーツや楽しく健康づくりができる生涯スポーツをはじめとして、「スポーツを観る・支える」人達にも着目したスポーツを推進していく必要があります。そのため、これまでの計画を引継ぎ、さらに発展させた「第2次 魚沼市スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画は「市民が自主的・自律的にスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会」を基本理念として推進していきます。それには市民をはじめ各スポーツ団体、地域団体、学校等が連携、協働して取り組む必要があると考えます。皆様の多大なるご理解とご協力をお願いします。

終わりに、計画策定に当たり貴重なご提言をいただきました魚沼市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年3月

魚沼市教育委員会 教育長 星 勉

目 次

第 1 章 魚沼市スポーツ推進計画の策定について	4
1 はじめに	
2 計画の位置づけ	
3 計画期間	
4 前計画の達成状況	
第 2 章 計画の基本的な考え方	8
1 基本理念	
2 基本方針	
3 到達目標	
4 計画の推進と評価	
第 3 章 計画推進のための方策	10
第 1 節 健康増進と生涯スポーツの推進	10
1 生涯にわたって楽しみや生きがいづくりができるスポーツの推進	
2 子ども達のスポーツと体力向上	
3 成年の健康スポーツの推進	
4 障害者のスポーツ機会の充実	
第 2 節 夢に向かって挑戦する競技スポーツの推進	16
第 3 節 「観る」スポーツの推進	17
第 4 節 「支える」スポーツの推進	19
1 スポーツ活動を支える人材育成とスポーツ団体の組織強化	
2 スポーツツーリズムの推進	
第 5 節 スポーツ活動実践の啓発と普及・推進に向けた情報発信の充実	21
第 6 節 施設の有効利用と広域連携の推進	22
1 既存施設の有効利用	
2 充実したスポーツ環境の整備と広域連携の推進	

資 料

1	スポーツ推進審議会委員名簿	24
2	魚沼市スポーツ推進計画の策定について（諮問書）	25
3	魚沼市スポーツ推進計画について（答申書）	26
4	スポーツ推進計画策定の経過	27
5	スポーツ推進計画策定に向けた調査等	28
	① 計画改訂に向けた関係者懇談会における主な意見	
	② 未就学児保護者へのスポーツに関するアンケート調査結果	
	③ 計画改訂に向けた体育協会加盟団体へのアンケート調査結果	
6	魚沼市のスポーツ推進に係るイメージ図	40
7	健康づくりのための身体活動基準 2013	41
8	魚沼市体育施等一覧	44
9	第二次魚沼市総合計画策定に関するアンケート調査結果報告書（抜粋）	45
10	小学生の体力測定結果	52
11	中学生の体力測定結果	53
12	魚沼市スポーツ少年団の団員・指導者数の推移	54
13	魚沼市 健康と食に関するアンケート 結果報告（抜粋）	55
14	（参考）週1回以上の運動実施率の算出について	69
15	魚沼市障害者計画 第4期障害福祉計画（抜粋）	70
16	スポーツ関係団体の組織図	77

第1章 魚沼市スポーツ推進計画の策定について

1 はじめに

魚沼市は、スポーツ環境の整備と施策を展開するため、平成18年3月に「魚沼市スポーツ振興基本計画」を策定しました。計画では、子どもから高齢者まで「誰でも」「いつでも」「どこでも」そして「いつまでも」運動やスポーツを行うことが出来ることを目指してきました。

この計画策定後、国は平成23年6月にスポーツ振興法の全面改正によるスポーツ基本法を制定しました。併せてスポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出を目指し、スポーツ基本計画も制定しました。

また、平成25年9月には、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。国民のスポーツに関する関心が高まってきており、開催決定を契機としたスポーツの普及、推進が求められています。

魚沼市は、少子化や人口減少などの行政課題や様々なスポーツを取り巻く現状と課題に直面しています。市民が生涯にわたり健康でいきいきと過ごしていくために、「第2次魚沼市スポーツ推進計画」を策定しました。

2 計画の位置づけ

- (1) スポーツ基本法第10条に定める市町村計画（地方スポーツ推進計画）です。
- (2) 魚沼市スポーツ振興基本計画（平成18年3月策定）を引き継ぎます。
- (3) 第二次魚沼市総合計画（平成28年3月策定）を上位計画として、関連する個別計画^{※1}と整合を図りながら策定します。

※1 第2次魚沼市生涯学習推進計画、魚沼市子ども・子育て支援事業計画、魚沼市子育てビジョン、第2次魚沼市健康づくり計画「健康うおぬま21」、魚沼市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画、魚沼市障害者計画・第4期魚沼市障害福祉計画

3 計画期間

平成28年度から平成37年度までの10年間とします。

4 前計画の達成状況

<到達目標 1>

子どもから高齢者まで様々なニーズに合わせたスポーツ環境を提供するために、スポーツ団体の活動基盤の強化を進めます。

<現状及び達成状況>

前計画の策定以前からスポーツ教室の一部を総合型地域スポーツクラブへ委託し、市民にスポーツの普及を図ってきました。平成20年度には、体育指導委員に委嘱していた社会体育事業も同クラブに委託して各種スポーツ教室の充実を図っています。

専門スタッフによる質の高い教室を開催するとともに、行政が取り組んできた社会体育事業の委託により、活動基盤も強化しています。

(平成19年度の市体育指導委員は20人。平成20年度以降同委員の委嘱をせずに、その役割を総合型地域スポーツクラブのスポーツリーダーが担っている。平成27年度のスポーツリーダーは23人でスポーツの普及に向けて市民のニーズに応えている。)

また、会員数(平成27年10月1日現在26団体4,285人)で本市最大規模のスポーツ団体である市体育協会には、各種大会等(平成27年度は全44大会)を委託しています。各種大会は加盟団体の主管により開催され、競技力向上や生涯スポーツの充実、ジュニア育成(スポーツ少年団の種目は平成18年度の14種目から、平成27年度の15種目に増加)などを図っています。併せて同協会を支援して活動基盤の強化を図り、市や各団体と連携する中でスポーツの普及を図っています。

<到達目標 2>

施設やプログラムの整備により、成人の週1回以上の運動実施率を50%(国のスポーツ振興基本計画と同じ目標値)に引き上げることを目指します。

<現状及び達成状況>

運動習慣の定着を図るため、各種運動教室等を専門性の高い総合型地域スポーツクラブに委託し、目標達成に向けて取り組みました。しかし「健康と食に関するアンケート(平成27年4月実施)」の実施結果をクロス集計した分析では、成人の週1回以上の運動実施率は約35.1%に留まり、数値目標に到達しませんでした。

60歳代以上から運動実施率が高いものの、30歳代を中心とした世代が低くなっています。

他の調査結果を見ると、健康に対する意識が運動実施と結びついており、健康に自信のある若い世代の同実施率が低くなっています。反対に健康に不安を抱える高齢者において、健康維持などを目的に同実施率が高い傾向にあります。

また、「年長未就学児の保護者を対象としたアンケート(平成26年9月実施)」の結果では、運動をしない理由は、「仕事や家事、育児が忙しい」が最も高くなっています。運動実施のための時間が少ないことなどが推測されます。

目標達成は成りませんでした。平成21年度に実施した同様の調査と比較すると9ポイント以上向上しました。特に70歳以上の年代で著しい向上があり、継続した運動実施者が着実に増えていることがわかります。

<到達目標 3>

スポーツ活動に対する満足度を高め、十分にスポーツができた実感する者の割合を、25%まで高めることを目指します。

<現状及び達成状況>

第二次魚沼市総合計画策定に関するアンケート調査結果(※P7表1 平成25年12月実施)では、「楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興」に対する満

足度は「満足」「やや満足」の合計で45.8%でした。「不満」「やや不満」の合計20.3%を上回っています。

また同内容の重要度は、「重要」「やや重要」の合計で59.2%でした。「重要でない」「あまり重要でない」の合計19.1%を上回りました。これらの結果から、スポーツへの関心の高さや期待が大きいと言えます。

十分にスポーツができた実感する人の割合は、前記2の運動実施率の結果分析からは、年代によっては低いと推測できます。しかし、スポーツや健康に対する意識の高まりや、運動実施率が向上していることなどから、十分にスポーツができた実感する者の割合も向上しているものと思われます。

<到達目標 4>

「誰でも」「いつでも」「どこでも」そして「いつまでも」運動やスポーツを行うことができるように、ライフステージに応じたスポーツの環境を整備します。

<現状及び達成状況>

幅広い年齢を対象とした、各種運動教室や市民スポーツフェスティバルなどをスポーツ団体に委託し、生涯スポーツの普及を図ってきました。

(平成18年度の各種運動教室は、6事業を実施し参加者数は1,615人。平成26年度は14事業を実施し参加者数は7,442人に増加。市民スポーツフェスティバルにおける同様の比較は、12事業1,615人から42事業3,325人に増加)

また、施設の指定管理制度移行により、利用者目線の施設運営とソフト事業の充実を図ってきました。その結果、指定管理移行後に利用者数が約1.5倍に増えた施設もあります。各施設は、幅広い年齢の市民がスポーツを行なう場として定着し、好循環へとつながっています。

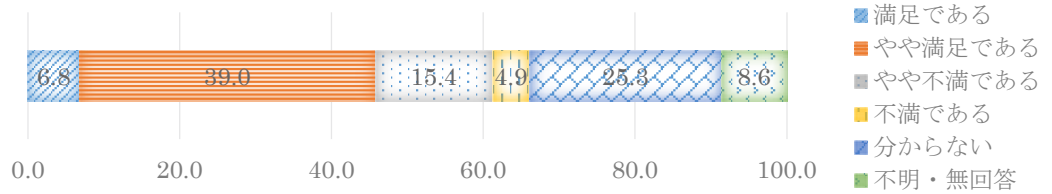
資料1：各アンケート結果の抜粋

「健康と食に関するアンケート」(市健康課が平成27年4月に実施)			
1	運動実施率(週2回)	(最上位)	70歳代 51.0%
		(最下位)	30歳代 13.4%
2	運動実施率の伸び(平成21年度との比較)	70歳代	31.9%⇒51.0%
		80歳以上	25.2%⇒46.0%
3	健康状態が「健康である」「健康なほうである」	(最上位)	30歳代 86.6%
4	健康状態が「健康でない」「あまり健康でない」	(最上位)	80歳代 36.0%
5	運動継続の理由の最上位	健康維持	65.0%
	上記理由の年代別(最上位)	70歳代	85.0%
		(最下位)	20歳代 25.0%
「年長未就学児の保護者を対象としたアンケート」			
(市生涯学習課が平成26年9月に実施)			
1	全く運動しない・殆ど運動しない		64.6%
2	上記の理由	仕事や家事、育児が忙しい	41.8%

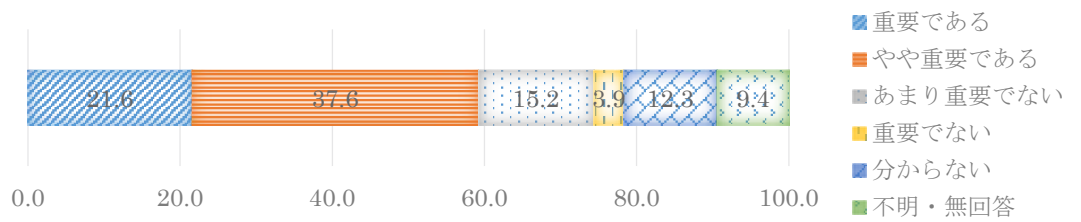
表1：第二次魚沼市総合計画策定に関するアンケート調査（平成25年12月実施）抜粋
 問 魚沼市のまちづくりの方向性を示す「第一次魚沼市総合計画」の各分野における主要な施策（政策）とその主な事業、取組みについてどう感じているか。

「楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興」に対する満足度と重要度

満足度 (%) 回答者数487



重要度 (%) 回答者数487



第2章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利です。その実現のために、「誰でも」「いつでも」「どこでも」そして「いつまでも」市民が自主的・自律的にスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会を目指します。

2 基本方針

(1) 健康増進と生涯スポーツの推進

子どもから高齢者まで、スポーツ・レクリエーションに参加でき、健康増進や生きがいがづくり、そして地域も元気になる生涯スポーツを推進します。

(2) 競技スポーツの推進

夢に向かってスポーツに挑戦していく人々や、関係者への支援の充実が求められています。そのために、各スポーツ団体と連携、協働しながら、各組織の自律と体制強化を支援します。

(3) 観るスポーツの推進

スポーツを観て楽しむことで得る感動や興奮は、様々な角度からスポーツに関わる意識高揚に大きな役割を担っています。スポーツ文化の一つとして「観る」スポーツを推進し、市民のスポーツへの関心を高めます。

(4) 支えるスポーツの推進

スポーツを楽しむことや、競技スポーツで頂点を目指す活動を行なっていくには、スポーツを「支える」人々が必要です。市はスポーツを「する」「観る」活動をつなぎ広げていくために、「支える」スポーツを推進します。また各スポーツ団体と連携し、スポーツを支える人材や団体を育成する活動を支援します。

3 到達目標

平成18年に策定した前計画の到達目標は、成人の週1回以上の運動実施率を50%に引き上げることなどを目指してきました。平成27年度に実施した調査結果では、達成されませんでした。しかし、これまでの上昇率の考慮や、本計画の基本理念や方針に沿って各施策を推し進めていくために、国の政策目標を参考に本市の到達目標を定めます。

到達目標：成人の週1回以上の運動実施率 65%以上

資料2：成人の週1回以上の運動実施の調査結果

① 全 国 47.5%

「体力・スポーツに関する世論調査」(文部科学省が平成25年1月に実施)

回答者数 全国20歳以上の日本国籍を有する男女1,897人

② 新潟県 41.65%

県民アンケート調査「スポーツに対する意識及び実施状況について」

(県知事政策局広報広聴課が平成27年5月に実施)

回答者数 20歳以上79歳未満の男女401人

③ 魚沼市 35.08%

健康と食に関するアンケート(市健康課が平成27年4月に実施)

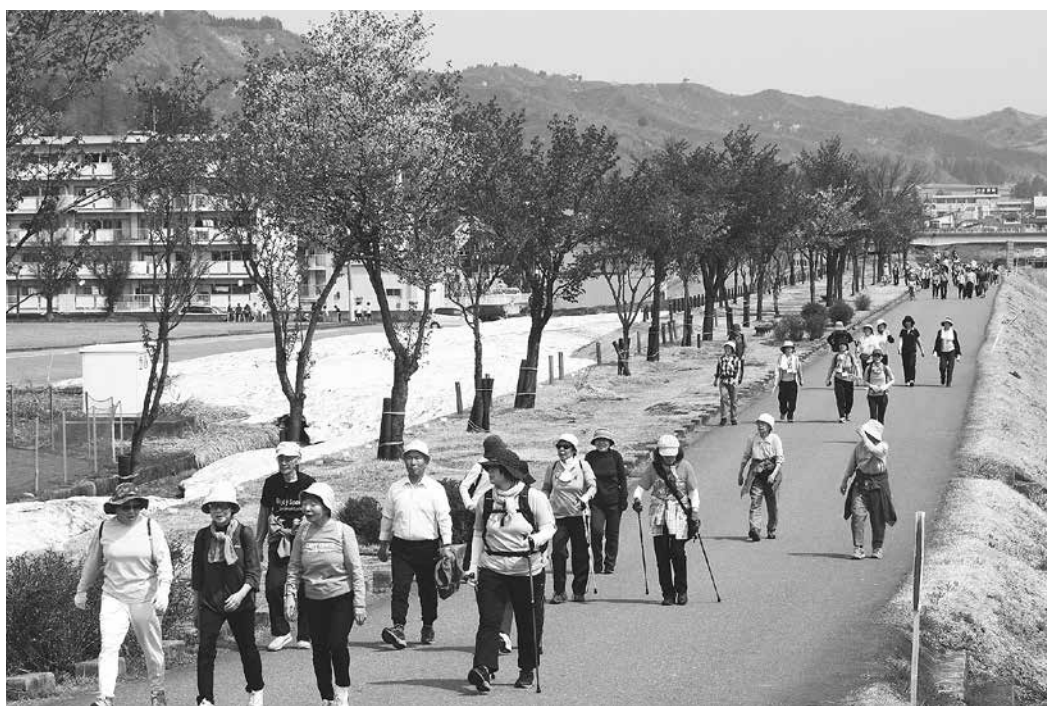
回答者数 20歳以上90歳未満の男女516人(P53~67参照)

(平成21年度に実施した同調査の結果は26.00%)

4 計画の推進と評価

この計画に則った各年度の実施計画の策定と実行については、スポーツ推進審議会の意見を参考に、市が関係団体等と連携を図りながら行います。計画の基本方針や到達目標などの進捗状況は定期的にスポーツ推進審議会において評価し、計画のいっそうの推進を図ります。

なお、社会情勢の変化や上位計画の動向、本計画の進捗状況を踏まえながら、計画の中間年を目途に必要な応じた見直しを行います。



第3章 計画推進のための方策

第1節 健康増進と生涯スポーツの推進

1 生涯にわたって楽しみや生きがいづくりができるスポーツ・レクリエーションの推進

<現状とこれまでの取組状況>

既存の各種事業により、健康志向の高まりなどを受けてスポーツへの関心が高まり、徐々に継続した運動やスポーツの実施者が増えています。継続して運動する人は心身ともに健康となり、生きがいづくりのライフスタイルにおいて好循環を創出しています。

また、コミュニティ活動を通じたスポーツ・レクリエーションなどが、各地域で少しずつ広がってきています。

<課題>

子どもから高齢者まで、これまで以上に生涯を通じて楽しく生きがいのある生活を送ることが求められています。そのためにスポーツ経験が少ない人達にも、気軽に参加しやすい各種教室や大会等の運営・開催方法を検討していく必要があります。

<基本目標>

誰もが生涯にわたって主体的にスポーツに参加し、楽しく生きがいづくりができるようなスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

<推進の方向>

- ① 多くの市民がスポーツに関心を持ち、スポーツへの参加機会が増えるような啓発活動を推進します。
そのために、実質的にスポーツ推進委員の役割を担っている総合型地域スポーツクラブのスポーツリーダーの育成と活動を支援します。
- ② 誰もが地域において、楽しみながら健康づくりや体力向上が図れる生涯スポーツ・レクリエーション活動を支援します。
- ③ 魚沼の自然を活かしたスポーツ・レクリエーション活動について、公民館事業をはじめ各団体と連携し、取組を推進します。

2 子ども達のスポーツと体力向上

<現状とこれまでの取組状況>

スポーツを通して青少年の健全育成を図るため、スポーツ少年団活動等を支援しています。少子化等の影響により、団員登録数、単位団数は減少傾向にあるものの、新規の団体登録があったことから、実施種目数は増えています。(平成18年度14種目⇒平成27年度15種目)

しかし、団体競技を中心に人数不足によりチーム編成や活動が困難となっていま

す。その結果、存続出来ないチームやスポーツ少年団等があります。

また、子ども達のスポーツへの関心を高め、体力・身体機能の向上を図るためには、幼少期からの運動習慣を定着させることが重要です。本市は、全未就学年長児を対象として、遊びの中に身体能力を発達させる運動を取り入れた教室を開催してきました。これを契機に、各保育園、幼稚園においても自主的に運動、身体遊びなどを取り入れています。

<課題>

スポーツをする子としない子の二極化を解消するため、スポーツ嫌いを無くす取組の充実が求められています。そのために保護者が、スポーツ活動に関心を示し、子どもと共に関わっていくことが重要となっています。

また、団体競技においては、少子化により学校・学区等を単位としたチームの存続が厳しいことから、合同チームの編成等の検討が必要です。

<基本目標>

子ども達が体を動かすことの楽しさや、喜びを味わうことができる環境づくりとスポーツへの関心を高める必要があります。子ども達への運動習慣の定着と体力向上への取組を推進します。

<推進の方向>

- ① スポーツが嫌いな子どもを減らすために、スポーツ・レクリエーションなど気軽に楽しめるスポーツへの参加機会の提供に努めます。そのために、総合型スポーツクラブをはじめとしたスポーツ団体と連携を強化します。
- ② 子ども達へのスポーツの普及に、大きな役割を果たしているスポーツ少年団活動を推進します。併せて活動を支える地域指導者の育成に向けて、スポーツ少年団活動を積極的に支援します。
- ③ 幼少期からの運動習慣の定着を図るため、未就学児運動教室の充実や遊びを通じた運動実施など、保育園等と連携した取組を推進します。
- ④ 各成長過程に適した運動指導を行い、体力向上とスポーツを通じた青少年の健全育成を推進します。そのために学校体育、部活動とスポーツ少年団や総合型スポーツクラブなどの地域スポーツ活動との連携を強化し、各指導者の育成と資質向上を図ります。
- ⑤ 保護者が子どもと一緒にスポーツ活動に参加し、健康増進や体力増進を図る活動を支援します。また、親子等で楽しめる野外活動やスポーツ・レクリエーションの普及を推進します。

3 成年の健康スポーツの推進

<現状とこれまでの取組状況>

青年期から高年期までの各種運動教室や、幅広い年齢の市民を対象とした大会等を総合型スポーツクラブや体育協会に委託し、市民スポーツの普及に努めています。

平成27年に実施した「魚沼市健康と食に関するアンケート」における成人市民の週2回の運動実施率は、70歳代が約51%、80歳以上約46%と高い結果です。運動を実施する理由の第一は、健康維持となっています。

また、同実施率が最も低いのは、30歳代の約13%であり、40歳代約20%とつづいています。30、40歳代の子育て世代の運動習慣が平均より低く、「年長未就学児の保護者を対象としたアンケート」結果（P12表3、平成26年9月実施）では、忙しいことが原因の多くを占めています。

なお、男女別同実施率は男性約35%、女性が約29%となっています。

表2：魚沼健康と食に関するアンケート調査（平成27年4月実施）抜粋

問 運動を継続して行っていますか（継続の目安：1日30分以上、週2日以上、1年以上継続）

		回答者数	はい	いいえ	無回答
性別	男性	234	77 32.9%	156 66.7%	1 0.4%
	女性	277	77 27.8%	197 71.1%	3 1.1%
	無回答	5	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	39	1 2.6%	37 94.9%	1 2.6%
	30歳代	67	0 0.0%	67 100.0%	0 0.0%
	40歳代	55	3 5.5%	52 94.5%	0 0.0%
	50歳代	72	18 25.0%	54 75.0%	0 0.0%
	60歳代	83	30 36.1%	52 62.7%	1 1.2%
	70歳代	100	58 58.0%	40 40.0%	2 2.0%
	80歳代以上	100	46 46.0%	54 54.0%	0 0.0%

表3：年長未就学児の保護者を対象としたアンケート結果（平成26年9月実施）抜粋
 問 あなた自身が運動、スポーツを行っていない理由は何ですか

回答項目		回答数	割合%
1	興味がない	7	2.6
2	仕事(家事・育児を含む)が忙しい	112	41.8
3	体力に自信がない	17	6.3
4	お金がかかる	20	7.5
5	したいと思うが機会がない	34	12.7
6	やりたいスポーツの施設(設備)がない	7	2.6
7	その他	5	1.9
内訳	病気	1	0.4
	子どもを見てくれる人がいない	1	0.4

<課題>

忙しい人達へのスポーツや運動の必要性の理解促進と、運動実施の習慣化を図ることが求められています。日常生活をはじめ、いつでもどこでも気軽に実施できる運動メニューの啓発と、スポーツに参加しやすい環境整備が必要です。

<基本目標>

市民が自主的に楽しく健康づくりができるような取組を推進します。そして、スポーツの参加機会の拡大と運動実施率の向上を図り、体力の維持や健康寿命の延伸に繋がります。

<推進の方向>

- ① 健康、福祉、医療等各部門と連携し、各々の年齢や体力、目的にあったスポーツプログラムの提供や、運動実施の動機付けを図る取組を推進します。
- ② ウォーキングや室内エクササイズなど、時間や場所にとらわれずに忙しい人達にも取り組みやすいスポーツの推進を図ります。
- ③ 中・高齢者が楽しみながら健康増進を図るスポーツや運動、身体活動などを、各スポーツ団体と連携して推進します。

4 障害者のスポーツ機会の充実

<現状とこれまでの取組状況>

魚沼市障害者計画・第4期障害福祉計画の策定におけるアンケート調査（※P14表4、P15表5）では、障害者の余暇活動の状況で、趣味やスポーツ、文化・芸術活動等に親しんでいる方々の割合は、40.4%という結果です。このうち「スポーツをしている人」の割合は全体の4.9%となっています。

芸術・文化活動も含めた質問で「今できない理由」のトップが「何をしたいかわからない」と答えた人が全体の 48.4%と高い結果です。次いで「費用がかかる」「体調が悪い」「一緒に仲間がいない」などの順で多くみられます。

これまで障害者スポーツは、学校や施設単位における活動が主でした。平成 28 年 2 月に南魚沼市などでスペシャルオリンピックス新潟大会^{※2}が開催されたことを契機に、学校や施設の枠を超えてクロスカントリースキーやスノーシューイング^{※3}、フロアホッケー^{※4}などの種目が定期的に行なわれています。

※2 スペシャルオリンピックス

知的障害のある人達に様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織。平成 28 年 2 月 12 日から 14 日にかけて、南魚沼市他において「スペシャルオリンピックス 2016 新潟」が開催された。

※3 スノーシューイング

スノーシュー（西洋かんじき）を履いて雪原や森をハイキングすること。スペシャルオリンピックス 2016 新潟大会の実施競技。

※4 フロアホッケー

選手がフェルト製のパックを、スティックを用いて相手ゴールへ入れて得点をあげる室内スポーツ。障害者向けスポーツとして考案されたが、現在では誰もが楽しめるスポーツとなっている。

表 4：障害者の余暇活動の状況

魚沼市障害者計画・第 4 期障害者福祉計画（平成 27 年 3 月策定）におけるアンケート調査結果抜粋

有効回答者数 124 重複回答有

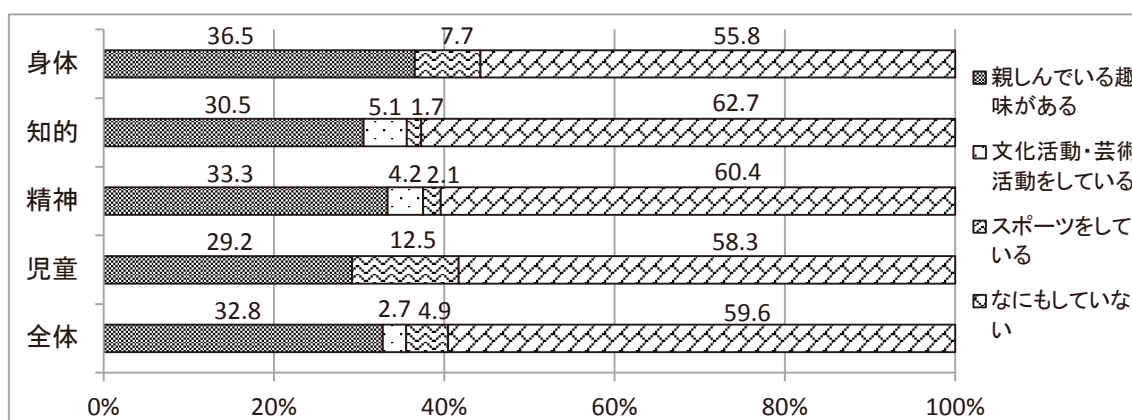
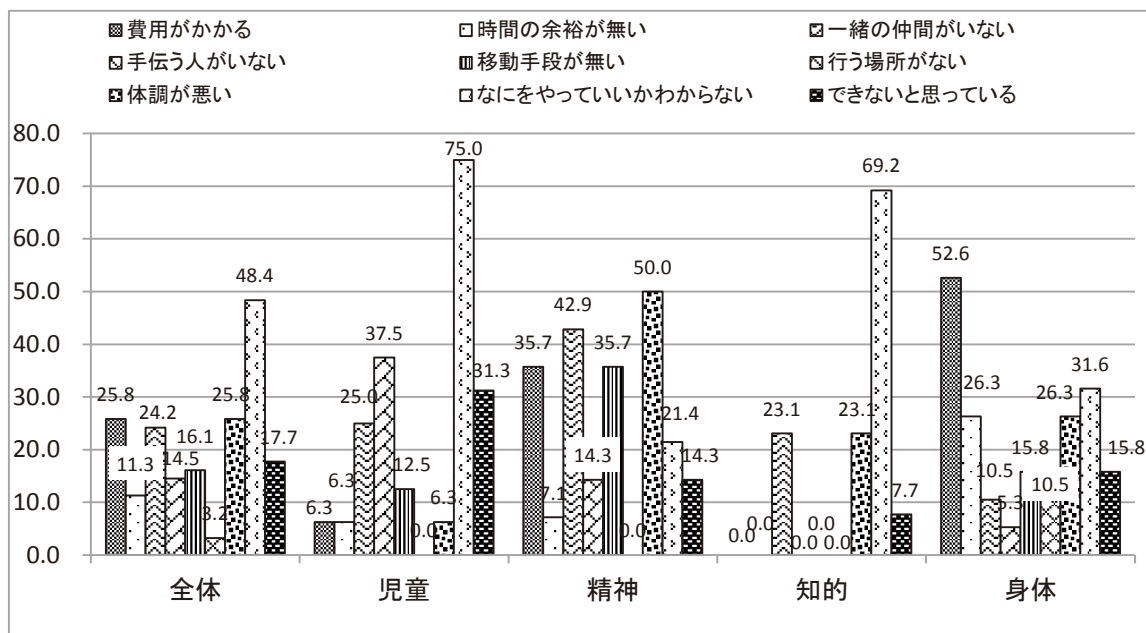


表5：障害者が余暇活動（スポーツ・レクリエーション含む）について今できない理由

魚沼市障害者計画・第4期障害者福祉計画（平成27年3月策定）におけるアンケート調査結果抜粋

表4（P13）で「何もしていない」103人のうち「何かしらに興味がある人（36.9%）」が、余暇活動を今できない理由



<課題>

障害者が興味を示しても、経済的、時間的、体調的な原因を中心として、スポーツ参加を諦める現状があります。

<基本目標>

障害の有無に関わらず誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる交流活動を支援します。そして障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ、活動しやすい環境づくりを進めます。

また、障害者スポーツに関する積極的な情報提供と啓発活動により、障害者のスポーツへの関心を高めると共に、ボランティアの育成等サポート体制の充実に向けた取組を推進します。

<推進の方向>

- ① 各福祉関係機関（特別支援学校、各社会福祉法人等）やスポーツ団体等と連携し、障害の有無に関わらずスポーツに親しみ交流の図れる取組を推進します。
- ② 各機関、団体等が中心に取り組む障害者スポーツの指導者、支援スタッフ、ボランティア等の育成を推進します。

第2節 夢に向かって挑戦する競技スポーツの推進

＜現状とこれまでの取組状況＞

本市はジュニア競技者への全国大会激励金の交付をはじめ、近隣市より手厚い支援策により、毎年多くの子ども達が全国を舞台に活躍しています。特にスキー競技におけるレベルは高く、市外から通学する高校生を含めて好成績を収めています。

一方で一般競技者に対しては、ジュニア競技者並みの支援策がなく、全国大会などに出場する場合に、遠征費の確保に苦慮しています。

また、市内の多くのジュニア競技者などは、高校、大学などを卒業すると共に引退してしまうのが現状です。

＜課題＞

一般競技者への支援策の充実と、アスリートを育成するための体制整備（指導者、クラブチーム等の組織づくり、活動資金）が求められています。また、各学校や大学卒業後も競技を継続するための環境づくりが必要です。

＜基本目標＞

大きな夢を持ち、競技に向かうアスリートを育成する体制を整備し、年齢を問わず競技を継続出来るシステムづくりと競技力向上への取組を推進します。

＜推進の方向＞

① アスリート育成と支援のための体制強化

学校卒業後も地域内で競技を継続出来る体制整備と、アスリート自身が将来的に指導者として地域に還元をもたらす「スポーツ界の好循環」の創出を推進します。

またアスリートの育成には、スポーツに関心を持つ子ども達を増やすことが重要です。学校やスポーツ少年団、体育協会をはじめとしたスポーツ団体との連携を強化し、子ども達のスポーツへの参加意欲を高める工夫を凝らした活動を支援します。

② ジュニア競技者等の一貫指導体制を確立するため、指導者の育成、資質向上など各スポーツ団体、学校等が連携した取組を支援します。

③ 子ども達が夢に向かって競技に取り組む気持ちを育むために、トップアスリートとの交流の機会提供や、各種イベント等において本市在住又は出身アスリートを活用する取組を推進します。

第3節 「観る」スポーツの推進

<現状とこれまでの取組状況>

市内で観戦できるプロスポーツとしては、以前は広神野球場で野球のBCリーグ公式戦が開催されていましたが、近年市内での開催はありません。

現在ではプロレスが毎年開催されており、会場内は多くの観衆と熱気に包まれ、市民やファンが観戦を楽しんでいます。他に近年は、フリースタイルモトクロス^{※5}のデモンストレーションが、各雪上イベントで開催されるなど、観戦の人气が高まっています。

また近隣市やアルビレックス新潟をはじめとした県内プロスポーツチームと連携し、試合観戦やトップアスリートとの交流などの機会を提供しています。

市内で観戦できるトップレベルスポーツは多くありませんが、スポーツ観戦はプロスポーツやトップアスリートのみではありません。市内の各種スポーツ大会や地域の運動会などにおいて多くの市民が、観戦や応援を楽しんでいます。

※5 フリースタイルモトクロス

モトクロス用のバイクを使い、ジャンプ台を使用して様々なジャンプを見せるスポーツ。本市を拠点として活躍しているライダーが、冬のイベントでは雪上ジャンプを見せている。

(P18 写真参照)

<課題>

施設の規模等の課題から、市内で観戦出来るトップレベルのスポーツイベント等は限られています。

しかし、市内で開催される各種スポーツ大会や運動会等は数多くあり、プロスポーツに劣らない感動を得ることもできます。多くの市民からスポーツへの関心を持っていただくために、情報発信の充実と観て応援する楽しみを啓発していく必要があります。

そして市民が観て応援する楽しみを通じ、スポーツを「する」「支える」へとつなげていくことが求められています。

<基本目標>

夢と感動をもたらすトップレベルのスポーツ観戦や、トップ選手とのふれあいの機会拡大に努めます。

また、市内で開催される各種スポーツ大会や運動会などを通じてスポーツへの興味、関心を高め、スポーツを観て楽しみ参加する、新たなスポーツ文化を推進します。

<推進の方向>

- ① スポーツを観て楽しみ、応援して盛り上がる新たなスポーツ文化を推進しま

す。そのために、市内及び県内で開催されるトップ選手が出場する大会等の情報を提供します。

- ② 子ども達をはじめとした市民に夢や感動を与え、スポーツに取り組む意欲の向上を図るため、プロスポーツ選手などと交流できるスポーツ教室や講演等を開催します。
- ③ 市内各地域で開催される運動会や各種スポーツ大会などの地域スポーツへの参加と併せて、観戦や応援で参加する取組の推進を図ります。そのために、各広報紙やホームページなどによる周知と魚沼ケーブルテレビやエフエム魚沼と連携し、市内スポーツイベントなどの観る（聴く）機会の充実を推進します。



第4節 「支える」スポーツの推進

1 スポーツ活動を支える人材育成とスポーツ団体の組織強化

<現状とこれまでの取組状況>

体育協会加盟団体の会員数の減少と高齢化が進んでいます。

また、スポーツ少年団では、指導者数も減少しています。

一方で総合型地域スポーツクラブでは、登録制のスポーツリーダーを活用し、社会体育の指導的役割を担っています。

<課題>

体育協会加盟団体の会員減少に歯止めをかけ、新たな指導者の育成と指導者スキルの向上を図るための対策が求められています。

<基本目標>

スポーツを「する」「観る」「支える」人々、組織がお互いに支え合うスポーツ界の好循環を創出します。そのために市民が、それぞれの立場から主体的にスポーツに関わり、自主的にスポーツ活動を支え、連携していくシステムづくりを推進します。

<推進の方向>

- ① 多様なスポーツニーズに対応するため、各スポーツ団体等が主体的に取り組む指導者育成を推進します。
- ② スポーツを支える人達が継続した活動を可能とするシステムを作るため、各スポーツ団体が運営体制を強化し、体育協会の法人化に向けた取組を推進します。

2 スポーツツーリズム^{※6}の推進

<現状とこれまでの取組状況>

市外から多くの参加者を募集して開催しているスポーツイベントとして、「ロングライド魚沼」「枝折峠ヒルクライム in 魚沼」「魚沼コシヒカリ紅葉マラソン」「小出国際雪合戦」があります。それぞれ運営スタッフの確保は、各主催者からの募集と働きかけが主ですが、スタッフ確保に苦慮しているイベントもあります。

※6 スポーツツーリズム

プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取組のこと。

<課題>

スポーツイベントのスタッフを確保するため、ボランティアスタッフ等の登録制

度の確立やスポーツイベントを運営していくための組織の育成が求められています。

<基本目標>

スポーツイベントを通じて、地域経済等の活性化と交流人口の拡大、市民の一体感を醸成するために、各団体の連携と市民主体によるスポーツイベント運営組織の育成を推進します。

<推進の方向>

- ① 自転車やマラソンなど、当市で開催する大規模なスポーツイベントで、沿道の市民や関係者が一体となり、参加者を応援するような交流を推進します。併せて、観光協会をはじめ各団体と連携して魚沼市の魅力を発信していきます。
- ② スポーツイベントを通じて市民の健康増進や一体感の醸成、地域経済活性化、交流人口の拡大など市勢発展へとつなげるために、様々な団体や市民が連携、協力して運営していくための組織づくりを推進します。
- ③ 市民プロデュースによるスポーツイベント運営を推進するため、スポーツボランティアの登録制度等の整備を支援します。



第5節 スポーツ活動実践の啓発と普及・推進に向けた情報発信の充実

<現状とこれまでの取組状況>

市内のスポーツに関する広報紙は「体協うおぬま（市体育協会発行）」や「エンジョイコミュニケーション（エンジョイスportsクラブ魚沼発行）」などがあります。他の情報伝達手段として、市報やスポーツカレンダーの発行、各ホームページもあります。大会、教室等の周知や施設情報、全国大会等で活躍する市民等の紹介など、随時情報を発信しています。

またケーブルテレビを活用し、市内スポーツイベントや運動会、体育施設の紹介などの放送（ホームページ上の動画配信含む）による情報発信を行っています。

<課題>

スポーツへの関心を高めるには、タイムリーな情報発信と、スポーツへの参加意欲が増すような記事、ページ作成の工夫が求められます。

また、健康増進に向けたスポーツ、運動実施の習慣化の必要性などについて、様々な手段を用いて情報発信と啓発を行う必要があります。

<基本目標>

市民へのスポーツの関心と、スポーツを「する」「観る」「支える」人達の拡大を図るため、スポーツのすばらしさや運動実施の重要性などについて啓発を図ります。

<推進の方向>

スポーツ関係団体や報道機関等との連携と情報共有により、タイムリーかつ、わかりやすい情報を発信します。

また、各広報紙や各ホームページの活用と魚沼ケーブルテレビ、エフエム魚沼と連携して、情報発信の充実を図ります。



第6節 施設の有効利用と広域連携の推進

1 既存施設の有効利用

<現状とこれまでの取組状況>

学校施設を含めた体育施設は、各団体の利用調整を図り利用されています。特に体育協会加盟団体やスポーツ少年団は、スポーツの普及やジュニア育成などの活動拠点として有効に利用されています。

また、民間団体が運営するプールやスキー場などにおいても、スポーツの普及や、競技力向上に繋がる成果を上げています。市民がスポーツを行う活動拠点として有効に運営されています。

<課題>

公共施設の老朽化と、それに伴う維持管理費の負担が増えています。

また冬季は、雪を活用した運動やスポーツの普及が求められています。

<基本目標>

今後は、既存施設の維持管理費や利用率を考慮した上で、施設再編を図る必要があります。

しかし、スポーツ推進とスポーツ活動の場の確保は両輪と言えます。そのため様々な施設の有効活用や恵まれた自然を活用し、手軽に取り組めるスポーツの推進を検討します。

<推進の方向>

- ① 体育施設や学校開放施設をはじめ、既存施設の有効利用を推進します。そのために引き続き、スポーツ関係団体や利用団体との協議、調整の機会を継続し、充実を図ります。
- ② 体育施設以外の施設でのスポーツ利用や、民間施設と連携したスポーツ推進策を検討します。
- ③ 施設にとらわれず、雪や自然を活用したスポーツ・レクリエーションを推進します。

2 充実したスポーツ環境の整備と広域連携の推進

<現状とこれまでの取組状況>

指定管理者制度の活用により、ソフト事業の充実や専門性を高めた施設運営により、利用者数を大幅に伸ばし、効果を上げている施設もあります。

夏休み等の合宿利用は、多くの施設で受け入れています。また近隣市の宿泊施設からも、毎年合宿利用を受け入れています。

<課 題>

充実した施設整備には、一市単独での実施は財政面などから厳しい現状です。近隣市町と連携した整備や施設の相互利用などの検討と調整が必要です。

またスポーツの普及、推進や競技力の向上を図るには、様々な施策や各事業においても近隣市町と連携した取組が必要となります。

<基本目標>

様々なスポーツに接する機会の拡大、スポーツの普及、推進、競技力向上を図るには、近隣市町と連携した取組も重要となります。既存施設の活用を図りながら、施設整備や相互利用など、スポーツの振興や推進にかかる全ての分野において、広域的な連携を推進します。

<推進の方向>

- ① 利用者へのサービス向上を目指して、引き続き指定管理者制度の活用など、利用しやすい施設の管理運営を推進します。
- ② 体育施設の相互利用や新たな施設整備に関することなど、近隣市町との連携に向けて協議を進めます。



資 料

1	スポーツ推進審議会委員名簿	24
2	魚沼市スポーツ推進計画の策定について（諮問書）	25
3	魚沼市スポーツ推進計画について（答申書）	26
4	スポーツ推進計画策定の経過	27
5	スポーツ推進計画策定に向けた調査等	28
	① 計画改訂に向けた関係者懇談会における主な意見	
	② 未就学児保護者へのスポーツに関するアンケート調査結果	
	③ 計画改訂に向けた体育協会加盟団体へのアンケート調査結果	
6	魚沼市のスポーツ推進に係るイメージ図	40
7	健康づくりのための身体活動基準 2013	41
8	魚沼市体育施等一覧	44
9	第二次魚沼市総合計画策定に関するアンケート調査結果報告書（抜粋）	45
10	小学生の体力測定結果	52
11	中学生の体力測定結果	53
12	魚沼市スポーツ少年団の団員・指導者数の推移	54
13	魚沼市 健康と食に関するアンケート 結果報告（抜粋）	55
14	（参考）週1回以上の運動実施率の算出について	69
15	魚沼市障害者計画 第4期障害福祉計画（抜粋）	70
16	スポーツ関係団体の組織図	77

魚沼市スポーツ推進審議会 委員名簿

委員

任期:平成27年4月1日～平成29年3月31日

No.	氏名	所属	備考
1	柳 瀬 良 平	魚沼市体育協会 理事長	会 長
2	八 木 勲	魚沼市スポーツ少年団指導者	副会長
3	星 雅 美	魚沼市スポーツ少年団本部長	
4	上 村 伯 人	スポーツドクター (日本体育協会公認)	
5	佐 藤 洋 子	市民代表	
6	大 平 歩	市民代表	
7	星 俊 寛	NPO法人エンジョイスポーツクラブ魚沼 クラブマネージャー	
8	山 本 潤	民間スポーツ指導者	
9	星 瑞 枝	元五輪選手	
10	梅 田 愛 子	距離スキー選手、スポーツトレーナー	
11	種 村 啓 子	小出小学校校長 魚沼市小体連会長	
12	下 村 正 人	堀之内中学校校長 魚沼市中体連会長	
13	高 橋 淳	新潟県立小出特別支援学校長	

事務局

1	星 勉	教育長	
2	森 山 正 昭	教育次長	
3	星 野 隆	生涯学習課長	
4	星 野 崇	生涯学習課社会体育係長	
5	瀬 下 彩 子	生涯学習課社会体育係主任	
6	松 井 司	生涯学習課社会体育係主任	

魚教 第 19 号
平成 27 年 4 月 15 日

魚沼市スポーツ推進審議会会長 様

魚沼市教育長 星 勉

魚沼市スポーツ推進計画の策定について（諮問）

標記について、魚沼市スポーツ推進審議会条例第 2 条の規定に基づき、下記事項について諮問します。

記

1 諮問事項

魚沼市スポーツ推進計画の策定について

- ① 計画期間 平成 28 年度～平成 37 年度
- ② 答申期限 平成 27 年 10 月末日

2 諮問理由

スポーツは、体力の向上や健康社会実現の礎であると共に、多くの感動や楽しみ、活力をもたらすものであり、明るく豊かな社会形成に欠かせない存在であると言えます。国は、平成 23 年に「スポーツ振興法」の全部改正による「スポーツ基本法」を制定し、「スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会」を創出するため、「スポーツ基本計画」を策定しました。

当市のスポーツ推進は、「魚沼市スポーツ振興基本計画」に基づき推進しており、平成 27 年度で計画期間が終了します。これまで約 10 年にわたり講じられてきた施策の達成状況や、昨今の社会情勢の変化を踏まえつつ、諸課題の検証、評価をしていただき、国の「スポーツ基本計画」を参酌して、今後 10 年先を見据えたスポーツ推進の方針を策定するものであります。

また、計画期間が同じく策定予定の第二次魚沼市総合計画をはじめ、魚沼市生涯学習推進計画や魚沼市健康づくり計画など、関連する計画との整合性を図り策定することとし、ご審議いただきますようお願い申し上げます。

平成27年10月23日

魚沼市教育長 星 勉 様

魚沼市スポーツ推進審議会
会 長 柳 瀬 良 平

魚沼市スポーツ推進計画について（答申）

平成27年4月15日付け、魚教第19号で諮問を受けた標記について、下記のとおり答申します。

記

1 諮問事項

魚沼市スポーツ推進計画の策定について

- ① 計画期間 平成28年度～平成37年度
- ② 答申期限 平成27年10月末日

2 答申内容

別紙の「第2次魚沼市スポーツ推進計画（案）のとおり」

スポーツ推進計画策定の経過

スポーツ推進審議会等の開催状況

開催日	会議名	内容	出席委員数
平成27年5月12日	第1回 スポーツ推進審議会	諮問内容、策定スケジュールの確認	11人
平成27年6月16日	第1回 スポーツ推進計画策定庁内検討会議	計画素案の審議	9人
平成27年7月14日	第2回 スポーツ推進審議会	計画素案(修正後)の審議	9人
平成27年8月20日	第2回 スポーツ推進計画策定庁内検討会議	計画原案の審議	9人
平成27年9月1日	第3回 スポーツ推進審議会	計画原案(修正後)の審議	10人
平成27年9月25日	第3回 スポーツ推進計画策定庁内検討会議	計画案の審議	6人
平成27年10月7日	第4回 スポーツ推進審議会	計画案(修正後)の審議	8人

スポーツ推進計画策定に向けた調査等

- ① 計画改訂に向けた関係者懇談会における主な意見 29
- ② 未就学児保護者へのスポーツに関するアンケート調査結果 32
- ③ 計画改訂に向けた体育協会加盟団体へのアンケート調査結果 38

計画改定に向けた関係者懇談会における主な意見

1 市立保育園長及び幼稚園長との懇談会

(平成 26 年 8 月 21 日 堀之内庁舎、出席者 市立保育園長及び幼稚園長 10 人)

(1) 未就学児運動教室の様子について

- ① 年 2 回の教室に園児は集中し、工夫して楽しんでいる。子ども達は、スリルのある体全体を使った遊びを好む。
- ② 運動が苦手な子も、遊びを通じた運動で、苦手な動作が改善されつつある。
- ③ 教室は、保護者からも好評であり、いくつかの保育園がこれとは別に、保護者会主催による「親子運動教室」を実施しているところもある。
一方では、休日はゆっくりしたいといった、保護者からの声もある。
- ④ 教室をきっかけに、保育士の意識が変わり、運動を取り入れた園生活の充実に努めている。

※ 未就学児運動教室

年長児を対象とし、市内各保育園、幼稚園で年 2 回開催。遊びの中に、身体能力を発達させる運動を取り入れたプログラムを提供している。NPO 法人エンジョイスポーツクラブ魚沼への委託事業。

(2) 園での運動（体遊び）指導の状況

- ① 体幹を意識して、遊びの中で様々な動きを取り入れている。また、年間計画を立てて縄跳びの練習や、家庭で歩くことが少ないようなので、散歩などで基礎体力をつけるようにしている。
- ② 街場の保育園は、散歩コースの選定に苦慮している。
- ③ 運動が苦手な子に対しては、保育士が意識して関わり、一緒に楽しみながら運動している。そうしないと、ますます運動しなくなる。
- ④ 現代生活では、雑巾絞り等をする事も無いため、子どもの手の力が弱い。家庭生活の中で、実践できることを取り組んでほしい。また、親子で一緒に歩いてほしい。

2 小体連、中体連、スポ少役員との懇談会

(平成 26 年 9 月 19 日 堀之内公民館 スポ少役員 11 人、小体連 5 人、中体連 2 人)

(1) 少子化、保護者関係

- ① 少子化により、チームの維持が困難となっている。(野球スポ少、入小)
- ② 子どものスポーツ参加は、保護者送迎の可否が大きく関わっている。
(サッカースポ少、須小)
- ③ 子どものスポーツ推進における課題は、少子化などにより、特に団体スポーツでの

活動が、出来にくくなっていることである。(サッカースポ少)

- ④ 子どものスキー人口減少は、保護者のスキー離れも原因としてある。魚沼は雪に恵まれているので、雪を活かしたスポーツをしてほしい。(スキースポ少)
- ⑤ 子どものスポーツ離れが進んでいる。また、スポーツをする子と、しない子の2極化が進んでいる。親世代のスポーツ離れを防ぐことも、重要と思う。(小体連)
- ⑥ 部活動における保護者からの要望は、子どもの競技レベルにより様々であり、対応に苦慮している。(中体連)

(2) 施設関係

- ① 陸上競技場が必要に感じるが、建設が財政的に厳しければ、体育館で走れる施設や、屋外での100m程度の全天候走路がほしい。(陸上スポ少、小体連)
- ② 冬期でもピロティーなどの、土の上で練習できる環境がほしい。(野球スポ少)
- ③ バレーコート4面が確保できる体育館があれば、大きな大会を誘致できる。(バレースポ少)
- ④ 施設再編は体育施設だけで考えず、学校統合や学校施設整備と併せて考えていく必要がある。(サッカースポ少)
- ⑤ 各施設が点在しているため、兄弟で別なスポーツを実施していると、保護者の送迎が困難となる。(サッカースポ少)

(3) その他

- ① 指導者が不足している。女性指導者がいない。(陸上スポ少)
- ② 子どもの体力低下が目につく。(柔道スポ少)
- ③ 長年、指導にあたっているが、高校生になった今も稽古に通い続ける子もいる。(合気道スポ少)
- ④ 学童保育の代わりに、放課後をスポーツで過ごせる環境がほしい。(小体連)
- ⑤ スポ少活動の目的は人づくり、手段がスポーツかと思う。(スポ少本部)
- ⑥ スポーツをしない子をつくらないように努力し、スポーツを通じていじめを生まない雰囲気にしていきたい。(小体連)

3 アスリートとの懇談会

(平成26年12月5日 堀之内公民館 星瑞枝氏含むアスリート及び指導者6人)

(1) 施設、ハード関係

- ① 水泳が出来る環境は限られているため、トレーニングで苦勞している。
- ② 公道や、自然(野山)をフィールドとしたトレーニングを行なうには、魚沼は良い環境と言える。
- ③ スキー競技を目指す子どもが減少しているが、活動経費が高いことも原因の一つとしてある。個人の用具意外にも、チームで必要とする練習備品(ドリルやゲート等)があるが、それらの購入補助等があると助かる。
- ④ 大人のアスリートは、自らどこにでも練習に行けるが、子ども達は保護者等の送迎

が必要となる。そのため、地域の中に練習環境の整備が必要となる。

(クロスカントリースキーコース)

(2) ソフト面の課題

- ① スポーツ振興には、まず大人が楽しんでスポーツをする環境が、重要と感じる。現状として、学校卒業と同時に競技を辞めてしまうケースが多い。大人になってもやろうと思い、継続できる環境を整えていく必要がある。子ども達は、一流選手だけを見て成長する訳ではなく、地域の大人を見て育っている。
- ② プロスポーツがある競技は、子ども達のモチベーションも上げやすく、また人気もある。一方で、競技人口の少ないスポーツは、引退した後における生活は厳しいものがある。外国のように、競技スポーツを地域のクラブチームで支え、選手を育成していくシステムが求められている。
- ③ スポーツに対する子どものモチベーション向上は、私達アスリート自身のモチベーション向上に関わっている。地域で頑張るアスリートを、広報等で紹介するなど少しのPRで、アスリートのモチベーションも向上し、子ども達へのスポーツへの関心を高めていける。

(3) 活動資金

- ① 100%自己負担で遠征しているため、資金面で諦めることがある。
- ② 全日本の強化指定から外れ、活動資金の捻出に苦慮した。オリジナル商品の販売による資金確保や、地元後援会の支援に助けられ競技を継続出来た。
- ③ どんなアスリートでも、活動資金の問題で悩む。地域でアスリートを支援し、育成していくシステムが必要と感じる。

(4) ジュニア育成関係

- ① 五輪経験者などを活用したイベントを開催し、子ども達と触れ合える機会があれば、子ども達がスポーツに向かうきっかけになると思う。
- ② 元五輪選手が、子ども達に指導する環境があれば、魚沼の子ども達は更に成長していくはず。
- ③ 子ども達に夢を持たせるには、指導者自身に夢がなければならない。また、出来ないと諦めるのではなく、出来るように考えていくことが重要である。

未就学児保護者へのスポーツに関するアンケート調査結果

- 実施時期 平成26年9月29日～10月10日
- 調査対象者
市立8保育園、市立2幼稚園、私立2保育園、私立1幼稚園に在籍する年長園児302人の保護者
- 回答者数 268人 (回収率88.74%)

※ 内訳の数は回答内容をまとめたもので、合計数は一致しません。
割合%欄の数字は、回答者数(268人)に対する割合。

NO	質問	回答項目	回答数	割合%	
問1	ご記入いただく保護者の年齢 ※ ご夫婦の場合、回答者はどちらでも構いません。	1 20代	27	10.1	
		2 30代	191	71.3	
		3 40代	47	17.5	
		4 50代以上	3	1.1	
問2	ご記入いただく保護者の性別 ※ ご夫婦の場合、回答者はどちらでも構いません。	1 男	29	10.8	
		2 女	239	89.2	
問3	あなたのお子さんの人数(人数を記入) ・未就学児 ・小学生 ・中学生 ・高校生以上 計			(回答数の平均)	
			418	1.58	
			163	0.62	
			28	0.11	
			16	0.06	
	計	625	2.36		
問4	あなたのお子さんは主に休日どのようにお過ごしですか (複数回答可)	1 保護者と体を動かして遊ぶ	155	57.8	
		内訳	公園で遊ぶ	88	32.8
			自転車、三輪車	81	30.2
			ボール遊び	29	10.8
			散歩	26	9.7
			おにごっこ	18	6.7
			サッカー	15	5.6
			かけっこ	15	5.6
			野球(キャッチボール含む)	13	4.9
			プール	12	4.5
			縄跳び	11	4.1
			バドミントン	7	2.6
			スキー、スノーボード、ウインタースポーツ	4	1.5
		その他	19	7.1	
		2 保護者と運動以外のことで遊ぶ	104	38.8	
		内訳	ぬりえ、お絵かき	23	8.6
			かるた、トランプ	21	7.8
オセロ、すごろく、ゲーム	20		7.5		
読書、読み聞かせ	18		6.7		
TV・DVD観賞	16		6.0		
お人形遊び、ままごと	10	3.7			

NO	質問	回答項目	回答数	割合%	
		工作、実験	10	3.7	
		積み木、ブロック、パズル	9	3.4	
		虫取り、観察	7	2.6	
		おもちゃ	6	2.2	
		ゲームセンター	4	1.5	
		ドライブ	2	0.7	
		釣り	2	0.7	
		その他	24	9.0	
		3 子ども(達)だけで体を動かして遊ぶ	125	46.6	
		4 子ども(達)だけでTVやゲームで遊ぶ	128	47.8	
		5 習い事(スポーツ)に行っている	35	13.1	
		6 習い事(スポーツ以外)に行っている	10	3.7	
		7 特に何もしていない	14	5.2	
		8 その他	23	8.6	
内訳	買い物	27	10.1		
	お出かけ、ドライブ	5	1.9		
	お手伝い	4	1.5		
	祖母宅で過ごす	1	0.4		
問5	あなたのお子さんは運動やスポーツに興味を示しますか	1 興味を示している	200	74.6	
		2 あまり興味を示していない	59	22.0	
問6	あなたはお子さんにスポーツへの関心を高めたいと思いますか	1 スポーツ好きに育てほしい	191	71.3	
		2 就学後の体育の授業等に支障がない範囲で、スポーツが出来れば良い	65	24.3	
		3 スポーツに関心を持たなくても構わない	4	1.5	
		4 その他	3	1.1	
		内訳	本人の好きなスポーツがあれば高めたい	1	0.4
			体を動かすことをしてほしい	1	0.4
問7	あなたのお子さんが興味を示す運動・スポーツ・体を使った遊びは何ですか (複数回答可)	1 かけっこ	161	60.1	
		2 ボール遊び	179	66.8	
		3 鬼ごっこなどの外遊び	181	67.5	
		4 公園遊具を使った外遊び	223	83.2	
		5 体操、ダンス	96	35.8	
		6 水泳など水(プール等)遊び	146	54.5	
		7 スキーなどウィンタースポーツ	87	32.5	
		8 雪合戦などの雪上遊び	143	53.4	
		9 その他	19	7.1	
		内訳	自転車	7	2.6
			バレーボール	2	0.7
野球	2		0.7		
縄跳び	2		0.7		
その他の球技	4		1.5		
その他	4	1.5			

NO	質問	回答項目	回答数	割合%	
問8	あなたのお子さんはスポーツの習い事をしていますか	1 している	74	27.6	
		内訳	水泳	36	13.4
			バスケットボール	6	2.2
			体育教室	6	2.2
			サッカー	5	1.9
			柔道	5	1.9
			スキー	3	1.1
			剣道	3	1.1
			野球	2	0.7
			ダンス	2	0.7
			バレエ	2	0.7
			バレーボール	2	0.7
			陸上	2	0.7
			その他	3	1.1
			2 していない	147	54.9
問9	あなたが、今後お子さんと一緒にやってみたいスポーツは何ですか(種目を記入)	スキー、スノーボード、ウインタースポーツ	62	23.1	
		水泳	26	9.7	
		テニス (ソフトテニス含む)	21	7.8	
		サッカー	19	7.1	
		野球	19	7.1	
		バレーボール	19	7.1	
		バドミントン	18	6.7	
		陸上・マラソン	15	5.6	
		球技・ボール遊び	12	4.5	
		ダンス	8	3.0	
		登山	8	3.0	
		バスケットボール	5	1.9	
		サイクリング	4	1.5	
		ゴルフ	3	1.1	
		卓球	2	0.7	
		体操、機械体操	2	0.7	
		ボルタリング	2	0.7	
		合気道	2	0.7	
		その他	12	4.5	
		問10	あなたがお子さんに習わせたい、教えたスポーツは何ですか(種目を記入)	水泳	86
スキー、スノーボード、ウインタースポーツ	56			20.9	
野球	36			13.4	
サッカー	21			7.8	
バレーボール	16			6.0	
テニス (ソフトテニス含む)	15			5.6	
ダンス	15			5.6	
バスケットボール	12			4.5	

NO	質問	回答項目	回答数	割合%
		体操、機械体操	10	3.7
		陸上・マラソン	10	3.7
		剣道	10	3.7
		空手	7	2.6
		ゴルフ	5	1.9
		球技	4	1.5
		本人が関心を示すもの	3	1.1
		バドミントン	2	0.7
		柔道	2	0.7
		武道	2	0.7
		その他	6	2.2
問11	あなたはお子さんを運動好きにさせるためには、何が一番重要と考えますか	1 親の意識(スポーツを体験させたいといった気持ちなど)	114	42.5
		2 学校等における教育	22	8.2
		3 スポーツクラブ(スポ少含む)の充実	44	16.4
		4 一緒にやる友達がいること	129	48.1
		5 施設の充実	41	15.3
		6 その他	18	6.7
		内訳		
		本人のやる気	6	2.2
		楽しむ環境、本人の気持ち	5	1.9
		上達する喜び	1	0.4
		指導者の充実	1	0.4
		時間の融通が効くクラブ、指導者の充実	1	0.4
		スポーツ体験	1	0.4
問12	あなたはスポーツを通じてお子さんの成長に期待したいことは何ですか(複数回答可)	1 礼儀正しさ	170	63.4
		2 競技力や技能の向上	70	26.1
		3 仲間づくり	183	68.3
		4 精神力の向上	196	73.1
		5 健康づくり、体力づくり	199	74.3
		6 その他	8	3.0
		内訳		
		学校以外の人間関係	1	0.4
		集中力、協調性	1	0.4
		目標達成に向かい工夫し努力すること	1	0.4
		将来の選択支が広がること	1	0.4
		体幹を鍛える	1	0.4
問13	あなたは親子でのスポーツ観戦をすることがありますか(兄弟等が参加する大会応援や練習も含む)	1 子どもと一緒に観戦する機会がある(種目を記入)	90	33.6
		内訳		
		野球	21	7.8
		サッカー	19	7.1
		バスケットボール	15	5.6
		バレーボール	12	4.5
		水泳	9	3.4
		テニス(ソフトテニス含む)	4	1.5
		陸上(駅伝、マラソン含む)	4	1.5

NO	質問	回答項目	回答数	割合%
		柔道	4	1.5
		空手	2	0.7
		五輪観戦	2	0.7
		卓球	2	0.7
		その他	6	2.2
		2 子どもと一緒にスポーツ観戦する機会はない	160	59.7
問14	あなた自身の運動・スポーツの実施状況についてお聞かせください	1 週1回程度	24	9.0
		2 週2回程度	20	7.5
		3 週3回以上	17	6.3
		4 月1～2回程度	31	11.6
		5 殆ど運動しない(月1回するかどうか)	91	34.0
		6 全く運動しない	82	30.6
問15	あなた自身が行っているスポーツは何ですか(複数回答可)	1 ウォーキング	61	22.8
		2 ランニング	29	10.8
		3 サイクルスポーツ(自転車)	6	2.2
		4 水泳	14	5.2
		5 登山等	13	4.9
		6 体操、ダンス	11	4.1
		7 ゴルフ	6	2.2
		8 ボウリング	2	0.7
		9 トレーニングジム(器具を使ったトレーニング)	4	1.5
		10 武道	6	2.2
		内 柔道	5	1.9
		内 剣道	1	0.4
		11 屋内球技スポーツ	13	4.9
		内 バレーボール	6	2.2
		内 フットサル	3	1.1
		内 卓球	1	0.4
		内 トリムバレー	1	0.4
		内 バスケットボール	1	0.4
		12 屋外球技スポーツ	12	4.5
		内 野球	5	1.9
		内 テニス	3	1.1
		内 サッカー	2	0.7
		13 ウィンタースポーツ	39	14.6
		内 スキー	19	7.1
		内 スノーボード	15	5.6
		14 その他	10	3.7
		内 テニス	2	0.7
		内 ストレッチ	1	0.4
		内 ヨガ	1	0.4

NO	質問	回答項目	回答数	割合%	
問16	あなた自身が運動・スポーツを行っている理由は何ですか (問13で1~4の回答者)	1 健康(美容含む)・体力づくりのため	74	27.6	
		2 楽しみ、気晴らしのため	64	23.9	
		3 自己(チーム)の記録や能力向上のため	7	2.6	
		4 家族のふれあい	38	14.2	
		5 仲間との交流	24	9.0	
		6 その他	7	2.6	
		内 訳	仕事のため	2	0.7
			一人の時間を有意義に過ごす	1	0.4
問17	あなた自身が運動・スポーツを行っていない理由は何ですか (問13で5~6の回答者)	1 興味がない	7	2.6	
		2 仕事(家事・育児を含む)が忙しい	112	41.8	
		3 体力に自信がない	17	6.3	
		4 お金がかかる	20	7.5	
		5 したいと思う機会がない	34	12.7	
		6 やりたいスポーツの施設(設備)がない	7	2.6	
		7 その他	5	1.9	
		内 訳	病気	1	0.4
子どもを見てくれる人がいない	1		0.4		
問18	あなたがジュニアスポーツの普及、推進のために市に期待したいことは何ですか(以下回答)□				
	施設使用料やスポーツにかかる経費等の軽減	21	7.8		
	施設整備及び施設の充実	17	6.3		
	指導者の充実及び育成等	14	5.2		
	各スポ少やクラブへの送迎	12	4.5		
	気軽にスポーツに参加できる環境(スポーツ体験)	12	4.5		
	広報の充実と情報発信	9	3.4		
	スポーツイベントや各大会の充実等	5	1.9		
	スポーツクラブ、スポ少の充実	5	1.9		
	小学校の放課後クラブ活動	5	1.9		
	学校体育の充実	3	1.1		
	スキーが出来る環境の充実	3	1.1		
	未就学児から参加できるスポーツクラブ等	3	1.1		
	ジュニアスポーツに対する施策の充実(予算配分を高く)	3	1.1		
	中学部活動に関すること	3	1.1		
	体操教室の充実	2	0.7		
	地域間格差の解消	2	0.7		
	積極的な参加募集活動	2	0.7		
	子どものみでスポーツに集中できる環境	1	0.4		
	中学校の統合	1	0.4		
	保護者の気持ちと協力体制	1	0.4		
	冬期でも外で活動できる環境	1	0.4		
	テニスの普及	1	0.4		
	小学生スポーツが中学進学後にスムーズに移行するシステム	1	0.4		
	キッズダンス	1	0.4		
	道具の貸し出し	1	0.4		

計画改訂に向けた体育協会加盟団体へのアンケート調査結果

調査実施期間 平成27年2月5日～2月27日
調査依頼数 体育協会加盟全28団体 回答数 14団体

1 各協会の平成26年度新規会員数について

新規会員のあった団体数及び人数 7団体、計32人（男25人、女7人）
人数の内訳 11人（1団体）、6人（1団体）、4人（2団体）、3人（1団体）、2人（2団体）

2 組織運営上の課題等

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会員の高齢化 | 7団体 |
| ② 活動が当該団体の全体に広がっていない | 3団体 |
| ③ スポーツ少年団指導者の不足及び高齢化 | 2団体 |

3 大会運営上の課題

- | | |
|-------------------|-----|
| ① 競技役員の不足及び確保 | 3団体 |
| ② 小学生の参加者が少ない | 1団体 |
| ③ 参加者が定員に達しない | 1団体 |
| ④ 協会員以外からの参加者が少ない | 1団体 |

4 スポーツの普及推進について ハード(施設)、ソフト(事業、施策)の両面を含む

(1) 競技スポーツの推進にあたり、必要と思うことは何ですか。

- | | |
|------------------------------------|-----|
| ① 施設の整備、改修等 | 7団体 |
| ② ジュニアの育成、支援（一貫指導体制、保護者の理解と経済支援など） | 4団体 |
| ③ アスリート育成に向けた支援組織等システムづくり | 2団体 |
| ④ 専門知識を有する指導者の育成 | 1団体 |
| ⑤ 体育協会会員の増加 | 1団体 |
| ⑥ 大会運営における安全管理 | 1団体 |

(2) 生涯スポーツの普及を進めるために、必要と思うことは何ですか。また、どのようにしたら、市民へのスポーツに対する関心を高めることが出来ると思いますか。

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| ① 幅広い年齢を対象にした健康教室教室の実施 | 4団体 |
| ② 気軽に楽しんで参加出来るスポーツイベント等の開催 | 3団体 |
| ③ ウォーキングや体操などいつでもどこでも実施できるスポーツのPR | 1団体 |
| ④ 施設の充実 | 1団体 |
| ⑤ 大会等の写真を掲示してPRする | 1団体 |
| ⑥ 若い世代にスポーツの楽しさを伝える | 1団体 |

5 東京五輪に向けて

(1) アスリートを育成するシステムとして、何が必要と思いますか。(資金や地域における指導体制、支援に必要なこと等)

- | | |
|---------------------------------|------|
| ① 指導者の育成及び資質向上と支援 | 4 団体 |
| ② 選手への支援 (特にジュニア選手) | 2 団体 |
| ③ 小学生から社会人までの一貫指導体制 | 1 団体 |
| ④ アスリート育成 (障害者スポーツ含む) のための組織づくり | 1 団体 |
| ⑤ 基金の設立 | 1 団体 |
| ⑥ 施設の整備 | 1 団体 |
| ⑦ 底辺の拡大 | 1 団体 |

(2) キャンプ地としての誘致をする場合に、体育協会及び加盟団体からの協力(誘致PRや受け入れ時の警備などのボランティア)が必要不可欠となりますが、協力の可能性や課題等について、現時点の考えをお聞かせください。

- | | |
|---|------|
| ① 平日における協力体制は厳しい | 3 団体 |
| ② 他団体の競技における協力は厳しい | 3 団体 |
| ③ 出来る限り協力したい | 1 団体 |
| ④ 体育協会からの動員となれば、ある程度の対応は可能 | 1 団体 |
| ⑤ 当協会の競技であれば協力可能 | 1 団体 |
| ⑥ 教育活動の一環として中学生ボランティアの協力の検討はある程度可能 | 1 団体 |
| ⑦ 会員の高齢化により協力は厳しい | 1 団体 |
| ⑧ 誘致するのであれば、早期に活動のための組織を設立し、準備に取り掛かり各協会が連携して取り組む必要がある | 1 団体 |

(3) 東京五輪を契機として、貴協会(上部団体含む)で取り組もうとしていることはありますか。(競技の普及開発、ジュニア育成に向けたプランなど)

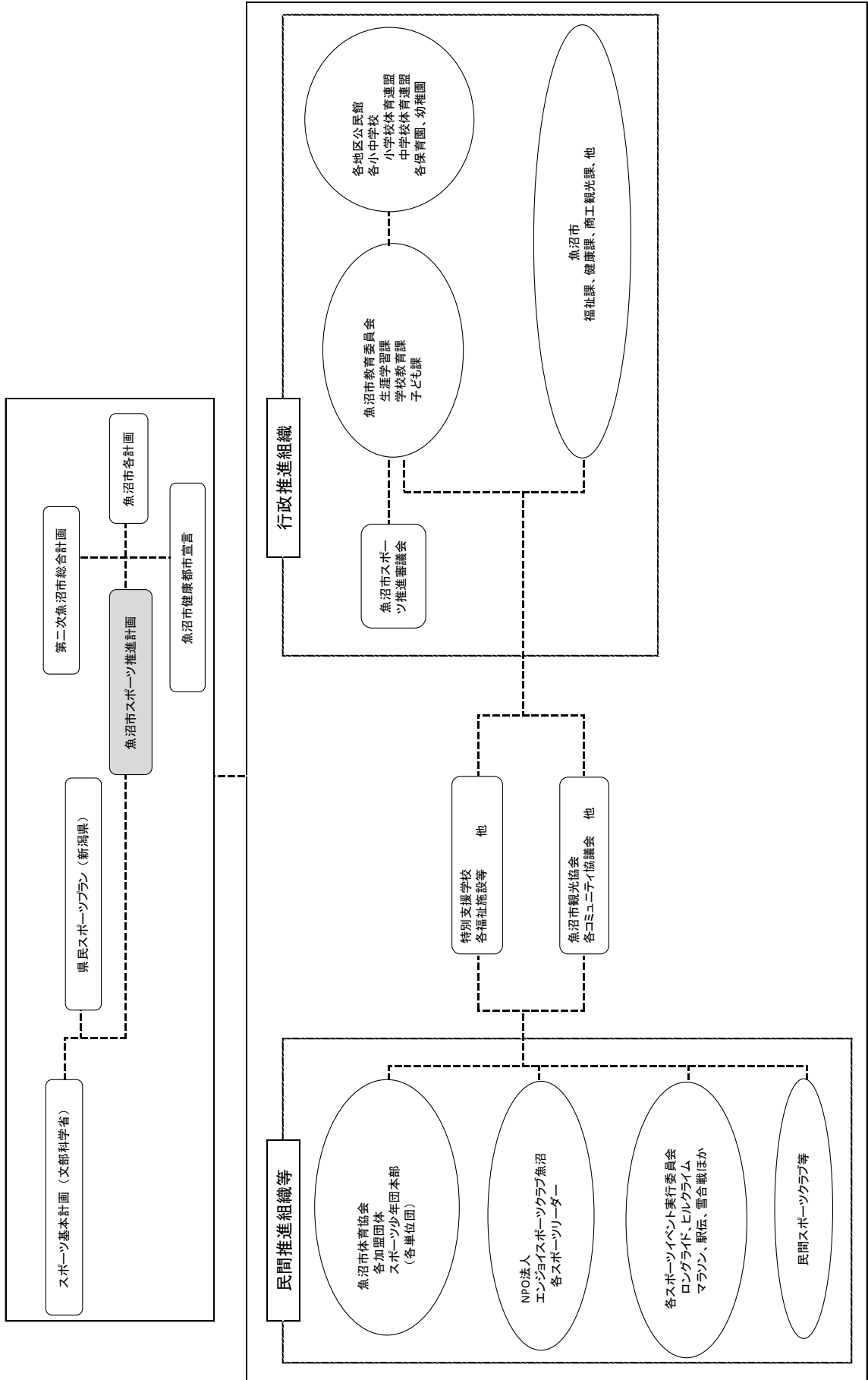
- | | |
|---------------------------|------|
| ① 継続したスポーツ少年団活動等によるジュニア育成 | 4 団体 |
| ② 現在の組織運営で手一杯 | 1 団体 |
| ③ 当団体の種目では考えていない | 1 団体 |

6 体育協会内の連携について

体育協会内(スポ少含む)他団体との連携した事業の実施例や、今後連携したいと思うことがありましたら、記入願います。

- | | |
|---|------|
| ① 大規模なスポーツイベントを開催する際に、体育協会でスタッフ等をサポートできる横断的な協力体制の整備が必要と思う | 1 団体 |
| ② スポ少活動において、各単位団や競技の枠を超えての合同練習など | 1 団体 |
| ③ 地域活性化に向けて積極的に大会誘致を行い、体育協会内で連携して取り組むことが必要と思う | 1 団体 |
| ④ 日頃から体育協会に関わるのが重要 | 1 団体 |

魚沼市のスポーツ推進に係るイメージ図



健康づくりのための身体活動基準 2013

厚生労働省では、ライフステージに応じた健康づくりのための身体活動(生活活動・運動)を推進することで健康日本 21(第二次)の推進に資するよう、「健康づくりのための運動基準 2006」を改定し、「健康づくりのための身体活動基準 2013」を策定しました。

そのなかで、将来、生活習慣病等を発症するリスクを低減させるために、個人にとって達成することが望ましい身体活動の基準(健診結果が基準範囲内の場合)は次のとおりです。実際に個々人に基準を適用する際には、個人差等を踏まえて柔軟に対応することが必要です。

	身体活動	世代共通の方向性	運動	世代共通の方向性
	(生活活動+運動)			
65歳以上	強度を問わず身体活動を毎日40分(=10メッツ・時/週)	(例 今 えよ ばり 1少 0し 分でも 多く増 歩やく す)	—	(3 0運 分動 以習 慣上 の持 つ運 動つ をよ うに 2日 以上 する)
18~64歳	3メッツ以上の強度の身体活動を毎日60分(=23メッツ・時/週)		3メッツ以上の強度の運動を毎週60分(=4メッツ・時/週)	
18歳未満	— 【参考】幼児期運動指針:「毎日60分以上、楽しく体を動かすことが望ましい」		—	

- ◇ 「身体活動」とは? → 身体活動=生活活動+運動
- ◇ 「生活活動」とは? → 日常生活における労働、家事、通勤・通学などの身体活動
- ◇ 「運動」とは? → スポーツなど、特に体力の維持・向上を目的として計画的・意図的に実施し、継続性のある身体活動
- ◇ 「メッツ」とは? → 国際的に使われている身体活動の強度を示す単位
 安静時を1メッツとしたときと比べて、何倍のエネルギーを消費するかで活動の強度を表しています。

- ※ 「3メッツ以上の強度の身体活動を23メッツ・時/週行う」とは、具体的には、歩行又はそれと同等以上の強度の身体活動を毎日60分行う。
- ※ 「3メッツ以上の強度の運動を4メッツ・時/週行う」とは、具体的には、息が弾み汗をかく程度の運動を毎週60分行う。

身体活動早見表

どのような生活活動・運動が、どの程度の強度であるか、一例として早見表にしました。

【生活活動編】

	歩く	屋内での家事	掃除や作業	屋外の作業	遊び	乗り物
3.0メッツ	普通歩行 犬の散歩	子どもの世話(立位)	梱包	日曜大工		電動アシスト付自転車
3.3メッツ		台所作業全般	フロア掃き 掃除機かけ		体の動きを伴うスポーツ観戦	
3.5メッツ	ほどほどの速さの歩行(散歩) 階段を下りる	調理・食事の準備	モップかけ 風呂掃除 軽い荷物運び	外窓の掃除 手洗い洗車 庭の草むしり	子どもと遊ぶ(歩く、軽く走る) 釣り(全般)	楽に自転車に乗る スクーター・オートバイ運転
4.0メッツ	ベビーカーを押して歩く 階段を上がる(ゆっくり)	高齢者等の介護(身支度、風呂)		車庫・家の周囲清掃 屋根の雪下ろし 庭木の剪定	動物と歩いて遊ぶ	通勤自転車
4.3メッツ	やや速歩	洗濯を干す		農作業(家畜にえさをやる) 苗木の植栽		
4.5メッツ			家の修繕	家のペンキ塗り 耕作		
5.0メッツ	かなりの速歩			鍬を使う除草	動物と走って遊ぶ	
5.5メッツ				シャベルで土・泥をすくう		
5.8メッツ			家具等の移動		子どもと走って遊ぶ	
6.0メッツ				スコップで雪かき		
7.8メッツ	ハイキング・遠足(荷物を背負って)			農作業(納屋の掃除)		
8.0メッツ			運搬(重い荷物)			
8.3メッツ			荷物を上の階に運ぶ			
8.8メッツ	階段を上がる(速く)					

【運動編】

	筋力トレーニング・体操	各種スポーツ	走る・自転車	水中運動	ダンス	冬季・山登り
3.0メッツ	ピラティス 太極拳	ボウリング バレーボール			社交ダンス(ワルツ、タンゴ)	
3.5メッツ	軽・中等度筋トレ 軽・中等度体操	ゴルフ(カート)		カヌー		
4.0メッツ	ラジオ体操第1 パワーヨガ	卓球				
4.3メッツ		ゴルフ(クラブを担ぐ)				スキー・スノーボード(楽な滑走)
4.5メッツ	ラジオ体操第2	テニス(ダブルス・試合)		水中歩行(中等度)	フラダンス フラメンコ	
4.8メッツ				背泳ぎ(ゆっくり)		
5.0メッツ		野球・ソフトボール		サーフィン	バレエ(モダン、ジャズ)	
5.3メッツ				平泳ぎ(ゆっくり) アクアビクス		スキー・スノーボード(ほとほとの滑走)
5.5メッツ		バドミントン				
6.0メッツ	ウェイトトレーニング(高強度)	バスケットボール	ジョギング(ゆっくり)			
6.5メッツ						山登り(4.1kgまでの荷物持つ)
7.0メッツ		サッカー	ジョギング			スキー・スケート
7.3メッツ		テニス(シングルス・試合)			エアロビクス	山登り(4.5～9.0kgの荷物持つ)
8.3メッツ		ラグビー(試合)	ランニング(134m/分)	クロール(ふつうの速さ)		
8.5メッツ			自転車(山道、モトクロス)			
8.8メッツ			なわとび(ゆっくり)			
10.3メッツ		柔道・空手 キックボクシング				
13.3メッツ			マラソン			

魚沼市体育施設等一覧

No.	分類	地区	施設名	施設概要	所在地	根拠条例
1	体育館	堀之内	堀之内体育館	アリーナ、トレーニング室、ランニング走路	魚沼市堀之内130番地	魚沼市体育施設条例
2	体育館	小出	小出第2体育館	アリーナ	魚沼市小出島1209番地35	魚沼市体育施設条例
3	体育館	小出	小出第3体育館	アリーナ	魚沼市干溝1441番地3	魚沼市体育施設条例
4	体育館	小出	小出南部いきいきスポーツセンター	アリーナ	魚沼市十日町494番地10	魚沼市体育施設条例
5	体育館	湯之谷	小出郷総合体育館	アリーナ、トレーニング室、ランニング走路	魚沼市井口新田267番地	魚沼市体育施設条例
6	体育館	湯之谷	大沢ふれあい体育館	アリーナ	魚沼市大沢222番地1	魚沼市体育施設条例
7	体育館	湯之谷	東湯之谷体育館	アリーナ	魚沼市下折立33番地1	魚沼市体育施設条例
8	体育館	広神	広神体育センター	アリーナ	魚沼市今泉1523番地1	魚沼市体育施設条例
9	体育館	守門	須原第1体育館	アリーナ	魚沼市須原4407番地1	魚沼市体育施設条例
10	体育館	守門	須原第2体育館	アリーナ	魚沼市須原520番地	魚沼市体育施設条例
11	体育館	守門	福山体育館	アリーナ	魚沼市福山新田756番地	魚沼市体育施設条例
12	体育館	守門	上条体育館	アリーナ	魚沼市西名541番地	魚沼市体育施設条例
13	体育館	入広瀬	入広瀬スポーツセンター	アリーナ	魚沼市大栃山47番地2	魚沼市体育施設条例
14	プール	小出	小出北部プール	25mプール	魚沼市小出島892番地6	魚沼市体育施設条例
15	プール	広神	下条プール	25mプール	魚沼市山口20番地	魚沼市体育施設条例
16	プール	広神	広神プール	50mプール	魚沼市田尻339番地1	魚沼市体育施設条例
17	テニスコート	広神	下条テニスコート	テニスコート4面	魚沼市山口20番地	魚沼市体育施設条例
18	野球場	小出	青島野球場	野球場	魚沼市青島929番地5	魚沼市体育施設条例
19	野球場	湯之谷	薬師運動広場	野球場	魚沼市七日市1050番地1	魚沼市体育施設条例
20	多目的運動広場	湯之谷	東湯之谷運動広場	多目的グラウンド	魚沼市下折立33番地1	魚沼市体育施設条例
21	野球場	広神	広神野球場	野球場	魚沼市山口198番地	魚沼市体育施設条例
22	多目的運動広場	広神	中条運動広場	多目的グラウンド	魚沼市金ヶ沢409番地1	魚沼市体育施設条例
23	多目的運動広場	守門	守門サンスポーツランド	野球場・多目的グラウンド	魚沼市西名新田685番地1	魚沼市体育施設条例
24	多目的運動広場	守門	上条運動広場	多目的グラウンド	魚沼市西名541番地	魚沼市体育施設条例
25	その他スポーツ施設	湯之谷	トレーニングセンター「ヤッコム」	トレーニング室	魚沼市七日市新田641番地1	魚沼市体育施設条例
26	多目的運動広場	堀之内	月岡公園多目的広場	野球場・多目的広場	魚沼市堀之内2012番地2	魚沼市都市公園条例
27	テニスコート	堀之内	月岡公園テニスコート	テニスコート6面	魚沼市堀之内2012番地2	魚沼市都市公園条例
28	その他スポーツ施設	堀之内	月岡公園ゴルフ練習場	ゴルフ練習場	魚沼市堀之内2012番地2	魚沼市都市公園条例
29	その他スポーツ施設	小出	小出公園オールシーズンシャンツェ	オールシーズンシャンツェ	魚沼市青島1871番地2	魚沼市都市公園条例
30	テニスコート	湯之谷	薬師テニスコート	テニスコート3面	魚沼市七日市新田33番地1	魚沼市観光施設等条例
31	その他スポーツ施設	湯之谷	湯之谷トレーニングセンター	アリーナ、トレーニング室	魚沼市下折立198番地1	魚沼市観光施設等条例
32	その他スポーツ施設	湯之谷	折立温泉運動広場	テニスコート3面、ゲートボールコート	魚沼市下折立200番地1	魚沼市観光施設等条例
33	多目的運動広場	入広瀬	中峯スポーツ広場	多目的グラウンド	魚沼市穴沢933番地	魚沼市観光施設等条例
34	その他スポーツ施設	入広瀬	越後ハーブ香園入広瀬	テニスコート3面、サッカーコート	魚沼市横根3089番地	魚沼市観光施設等条例
35	体育館	入広瀬	大白川体育館	アリーナ	魚沼市大白川363番地	魚沼市観光施設等条例
36	その他スポーツ施設	湯之谷	湯之谷交流センターユピオ	アリーナ、多目的運動広場	魚沼市大湯温泉182番地1	魚沼市温泉施設等条例
37	プール	入広瀬	寿和温泉室内温水プール	25mプール	魚沼市穴沢20番地	魚沼市温泉施設等条例

第二次魚沼市総合計画(仮称)策定に 関するアンケート調査結果報告書

抜 粋

**平成 25 年 12 月
魚 沼 市**

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 18 年に策定した第一次魚沼市総合計画の進捗状況を把握するとともに、本市が抱える問題や課題を洗い出し、市の取組みに対する市民の意向を調査することで、平成 28 年度（2016 年）からはじまる第二次魚沼市総合計画（仮称）の策定資料とするために実施しました。

2 調査仕様

- ① 調査地域：魚沼市内
- ② 調査対象：魚沼市内在住の 18 歳以上の方
- ③ 対象者数：1,000 人
- ④ 調査方法：郵送配布・回収
- ⑤ 調査期間：平成 25 年 7 月 11 日から 7 月 23 日まで

3 回収結果

- ① 配布数：1,000 票
- ② 有効回収数：487 票
- ③ 回収率：48.7%

4 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の読み取り文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of case）」は、有効回答数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- クロス集計分析結果表の色付きのマスは各項目の第 1 位の選択肢になります。
- グラフ中で経年比較を行っている設問は、平成 17 年 4 月に実施された「第一次魚沼市総合計画 魚沼市都市計画マスタープランに関する市民アンケート調査」の結果との比較を行います。

II 調査結果

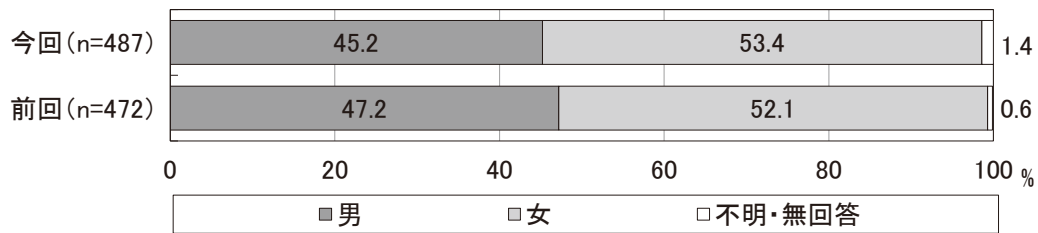
1 あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

性別は「男」が45.2%、「女」が53.4%となっています。

前回調査と比較すると、「女」が約1ポイント増加しています。

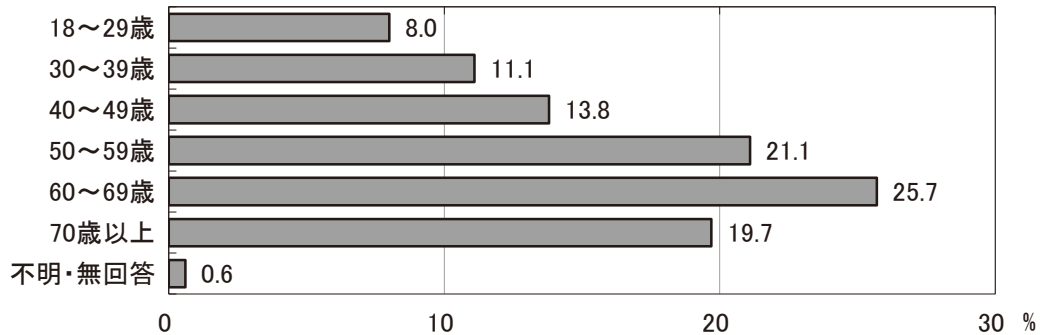
問1 (単数回答)



問2 あなたの年齢は、何歳ですか。(○は1つ)

年齢は、「60～69歳」が25.7%と最も高く、次いで「50～59歳」が21.1%、「70歳以上」が19.7%となっています。

問2 (単数回答) n=487



3 魚沼市のこれまでの取組みに対する満足度と重要度についておたずねします。

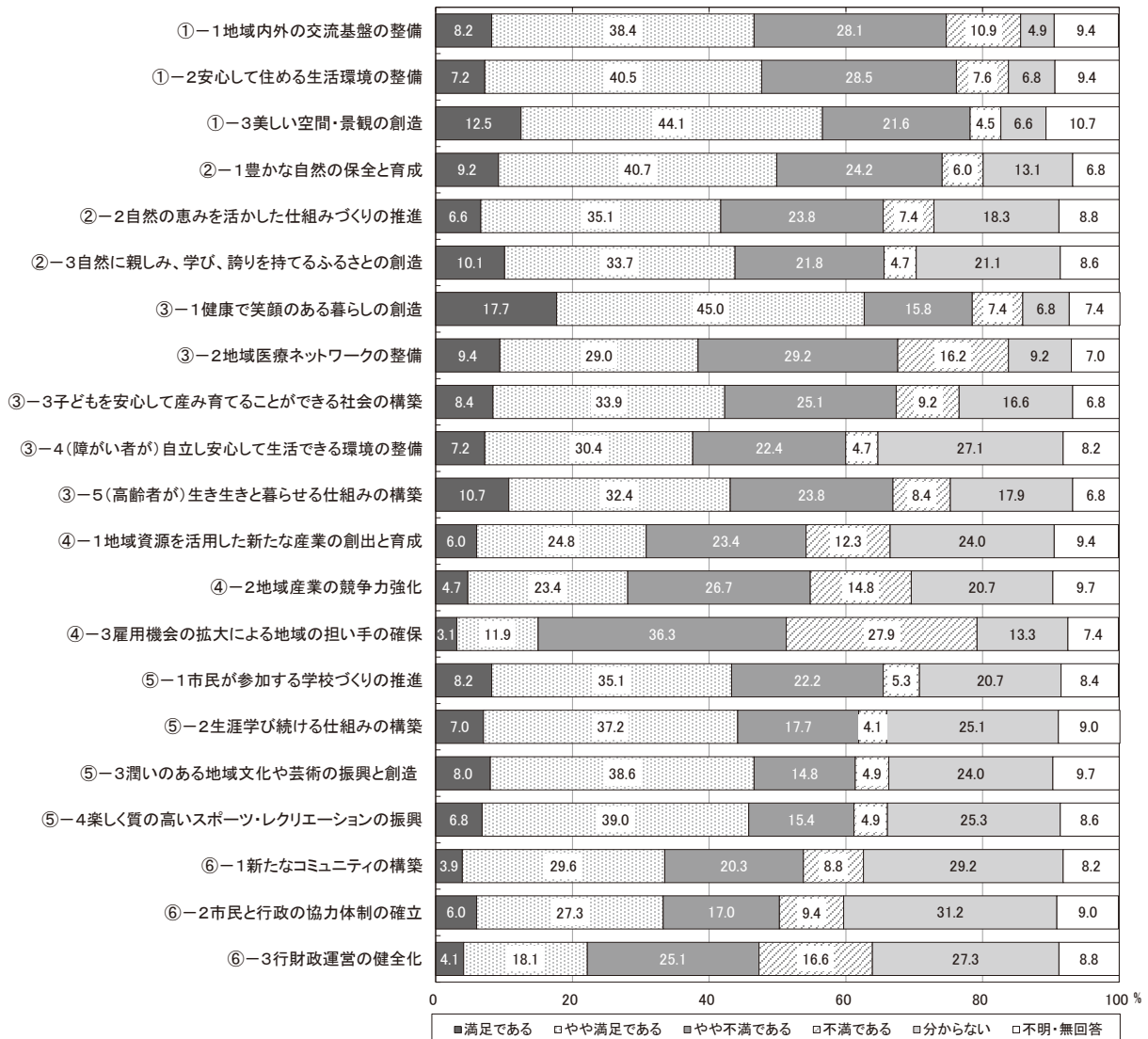
問 14 あなたは、魚沼市のまちづくりの方向性を示す「第一次魚沼市総合計画」の各分野における主要な施策(政策)とその主な事業、取組みについて、どう感じているか、それぞれの政策(主要な施策)ごとに該当する番号に○をつけてください。

満足度

各施策の満足度をみると、「満足である」と「やや満足である」を合わせた『満足である』は〈③-1健康で笑顔のある暮らしの創造〉が62.7%と最も高く、次いで、〈①-3美しい空間・景観の創造〉が56.6%、〈②-1豊かな自然の保全と育成〉が49.9%となっています。

また、「やや不満である」と「不満である」を合わせた『不満である』は〈④-3雇用機会の拡大による地域の担い手の確保〉が64.2%と最も高く、次いで、〈③-2地域医療ネットワークの整備〉が45.4%、〈⑥-3行財政運営の健全化〉が41.7%となっています。

問14 満足度（単数回答） n=487

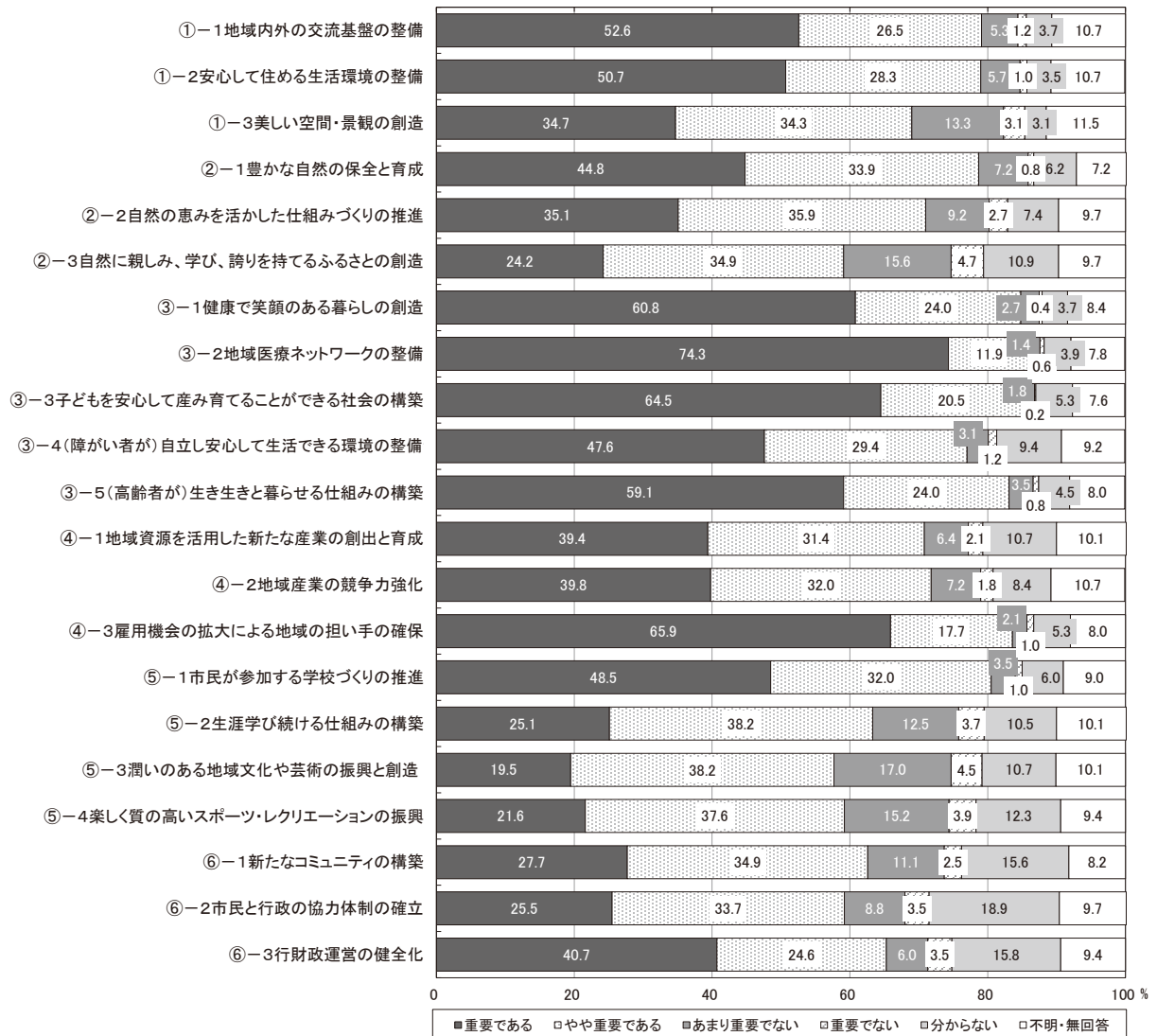


重要度

各施策の重要度をみると、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』は〈③-2 地域医療ネットワークの整備〉が86.2%と最も高く、次いで、〈③-3 子どもを安心して産み育てることができる社会の構築〉が85.0%、〈③-1 健康で笑顔のある暮らしの創造〉が84.8%となっています。

また、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた『重要でない』は〈⑤-3 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造〉が21.5%と最も高く、次いで、〈②-3 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造〉が20.3%、〈⑤-4 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興〉が19.1%となっています。

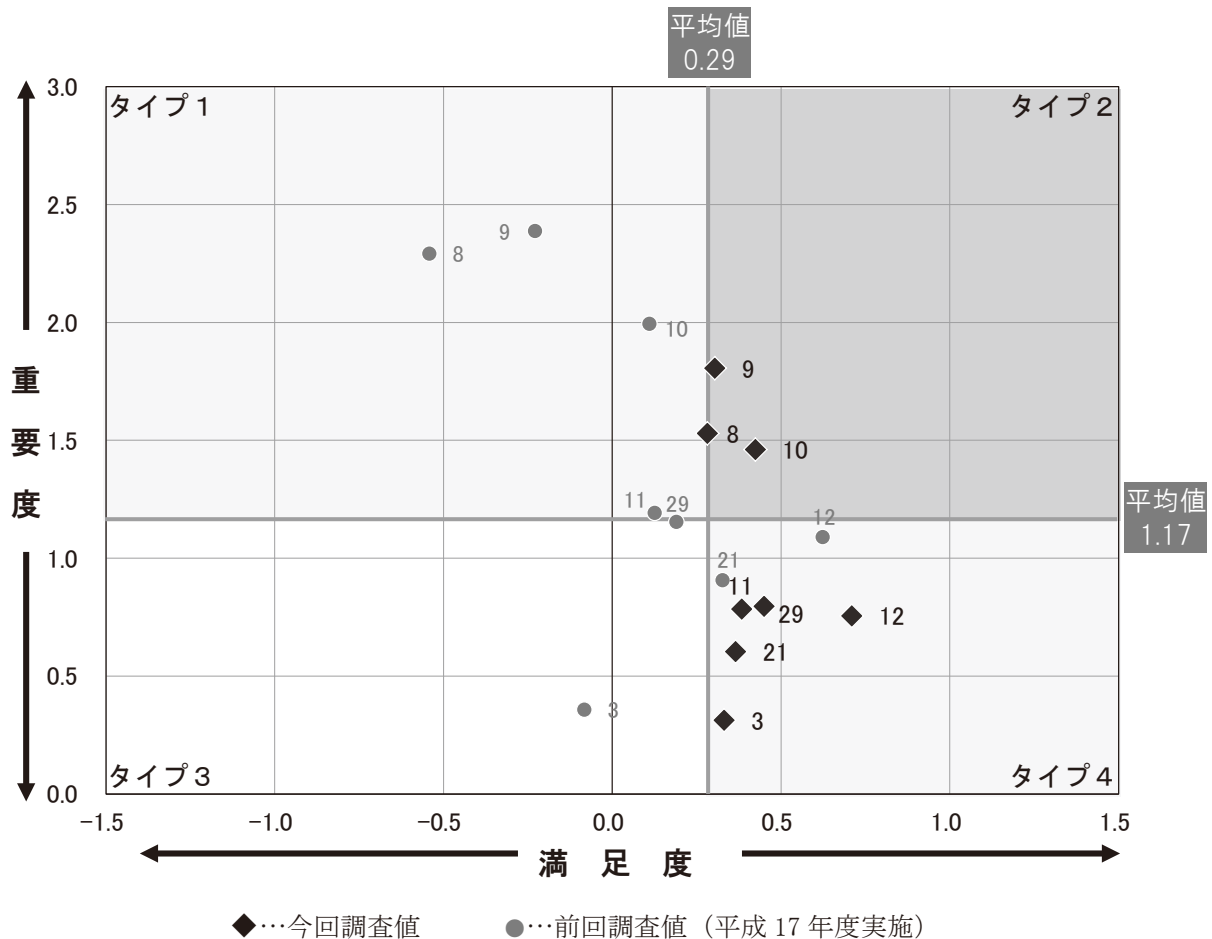
問14 重要度（単数回答） n=487



【教育・文化】

教育・文化分野では、タイプ2に「8. 青少年の健全育成」「9. 学校教育の充実」「10. 学校施設や設備の充実」が含まれ、中でも、「9. 学校教育の充実」で重要度が高くなっています。

また、タイプ4に含まれる「12. 名所・旧跡・文化財の保護」で満足度が高くなっています。



○対象項目

3. 国際交流の推進	10. 学校施設や設備の充実	21. 文化施設の活用と充実
8. 青少年の健全育成	11. 生涯学習の場の活用と充実	29. スポーツ施設の活用、充実
9. 学校教育の充実	12. 名所・旧跡・文化財の保護	

IV 総評

1 生活都市環境

生活基盤では、前回調査で現在の満足度が平均値より低かったものは、満足度が上昇しており、今後の重要度は全体的に低下しています。

また、上下水道やガスなどのインフラに対する満足度が高い一方で、将来望まれる市のイメージとして「道路や公園などの生活基盤が整備されたまち」が上位となっています。

なお、近年多発する水害、豪雪などの自然災害や防犯対策に対する重要度が高く、安心・安全のまちづくりの推進が望まれています。

2 自然環境

自然環境分野では、全体的に見ると満足度が高く、重要度が低下しています。

しかし、依然として市のイメージは、「自然と調和したまち」「田畑が広がった農業のまち」の割合が高く、市民が誇りに思えるものについても、コシヒカリをはじめとした農産物や山林風景や河川風景などの自然環境が上位となっており、今後も自然環境の保全や活用が望まれています。

3 保健・医療・福祉

保健医療福祉では、子ども、障がい者、高齢者等への福祉サービスや地域医療に対する重要度が高くなっています。

また、将来望まれる市のイメージとして「保健・福祉の充実した福祉のまち」が最も高くなっています。

自由回答においても病院の充実や高齢者や障がい者への支援を求める意見が挙げられており、引き続き、医療サービスや福祉サービスの充実が望まれています。

4 地域産業

地域産業では、市の主要な施策である「雇用機会の拡大による地域の担い手の確保」の満足度が低くなっており、自由回答においても雇用・就業の場を懸念する意見が多く挙げられています。

また、工業振興や商業振興に対する重要度は高く、工場や商業施設の誘致による雇用・就労の場の確保と地域の安定、活性化が望まれています。

5 教育・文化

教育文化では、特に学校教育の充実や青少年の健全育成について、重要度が高くなっています。一方で、市の主要な施策である「潤いのある地域文化や芸術の振興と創造」、「楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興」について、満足度は高く、重要度は低くなっています。

小学生の体力測定結果

実施年度	性別	学年	地区名	握力平均 (kg)	上体起こし平均(回)	長座体前屈平均(cm)	反復横とび平均(回)	シャトルラン平均(回)	最大酸素摂取量平均	50m走平均(秒)	立ち幅跳び平均(cm)	ソフトボール投平均(m)	平均得点合計
22	男	1	魚沼市平均	9.14	10.56	26.61	28.94	25.62	31.78	11.69	115.46	9.64	31.99
26	男	1	魚沼市平均	10.00	11.66	29.60	28.52	24.61	31.55	11.45	118.02	9.66	33.59
22	男	1	県平均	9.58	11.69	26.48	28.11	21.19	30.84	11.68	115.80	8.95	31.45
26	男	1	県平均	9.46	11.67	26.82	28.76	22.43	31.11	11.64	115.95	8.70	31.71
22	男	2	魚沼市平均	11.73	13.05	26.22	34.56	30.46	32.86	10.83	132.82	14.23	39.03
26	男	2	魚沼市平均	10.84	13.78	28.41	34.20	34.47	33.82	11.03	125.94	12.98	38.88
22	男	2	県平均	11.47	14.26	28.00	33.20	32.19	33.16	10.75	127.37	12.93	39.17
26	男	2	県平均	11.26	14.64	29.17	33.71	34.08	33.71	10.81	128.35	12.26	39.57
22	男	3	魚沼市平均	12.62	15.26	28.44	35.83	38.80	34.79	10.46	135.38	16.99	43.43
26	男	3	魚沼市平均	12.28	15.53	32.30	38.26	44.40	36.00	10.23	140.27	17.43	46.03
22	男	3	県平均	13.34	15.80	30.04	36.32	39.71	34.96	10.21	137.84	16.81	44.75
26	男	3	県平均	13.12	16.34	30.39	36.89	41.93	35.45	10.19	137.06	15.78	45.06
22	男	4	魚沼市平均	14.94	18.05	30.50	41.41	48.60	36.94	9.88	144.77	22.69	50.43
26	男	4	魚沼市平均	14.06	19.43	34.64	42.31	50.79	37.44	9.92	145.56	21.99	52.21
22	男	4	県平均	15.38	18.04	31.78	41.04	49.50	37.16	9.76	146.80	21.33	50.94
26	男	4	県平均	15.09	18.56	32.40	41.32	50.23	37.33	9.74	145.79	19.77	51.04
22	男	5	魚沼市平均	17.18	19.84	34.15	45.56	57.52	38.95	9.42	155.08	26.85	56.87
26	男	5	魚沼市平均	17.68	20.42	36.06	45.54	54.87	38.36	9.37	156.71	25.69	57.35
22	男	5	県平均	17.72	20.18	34.44	44.19	57.76	39.02	9.40	155.92	25.65	56.68
26	男	5	県平均	17.37	20.59	34.78	44.83	58.26	39.13	9.37	155.33	23.35	56.56
22	男	6	魚沼市平均	21.66	22.56	35.88	47.12	62.83	40.15	8.97	169.62	32.39	63.03
26	男	6	魚沼市平均	20.99	24.01	39.43	48.84	69.14	41.54	8.97	169.58	31.92	64.42
22	男	6	県平均	20.76	22.25	36.56	47.41	65.31	40.70	8.98	168.23	30.04	62.48
26	男	6	県平均	20.44	22.66	36.96	47.66	65.86	40.84	8.94	167.36	27.50	62.23
22	女	1	魚沼市平均	9.12	10.72	29.56	29.91	21.80	30.93	11.80	109.17	6.80	34.01
26	女	1	魚沼市平均	9.33	11.31	31.80	27.82	19.40	30.38	11.65	113.17	7.00	34.32
22	女	1	県平均	8.85	11.34	29.21	27.55	17.85	30.08	11.91	108.74	6.12	31.97
26	女	1	県平均	8.83	11.39	29.53	28.17	18.84	30.26	11.90	109.71	6.03	32.35
22	女	2	魚沼市平均	10.57	11.59	29.14	32.43	20.98	30.75	11.23	119.38	8.00	37.48
26	女	2	魚沼市平均	10.23	12.83	32.23	33.29	27.90	32.29	11.01	119.69	8.39	40.06
22	女	2	県平均	10.65	13.56	30.95	32.35	25.41	31.69	11.00	120.09	8.02	39.69
26	女	2	県平均	10.53	14.18	32.21	32.91	27.30	32.16	11.01	121.87	8.10	40.49
22	女	3	魚沼市平均	11.55	13.93	31.72	34.19	30.65	32.91	10.63	123.89	9.75	43.14
26	女	3	魚沼市平均	11.39	15.61	35.00	38.77	40.64	35.16	10.36	133.39	10.29	48.16
22	女	3	県平均	12.38	14.81	33.24	34.88	31.33	33.07	10.44	130.09	9.99	45.23
26	女	3	県平均	12.31	15.77	33.70	35.74	33.21	33.49	10.45	130.35	10.14	46.28
22	女	4	魚沼市平均	14.34	16.28	34.30	40.25	38.85	34.75	9.95	138.23	13.74	51.90
26	女	4	魚沼市平均	13.09	19.09	36.41	42.25	43.35	35.76	9.81	142.44	12.54	54.23
22	女	4	県平均	14.50	16.89	35.73	39.25	38.69	34.72	9.98	139.50	12.32	51.76
26	女	4	県平均	14.32	17.81	36.14	39.85	40.58	35.14	9.95	140.30	12.37	52.70
22	女	5	魚沼市平均	16.21	18.68	36.48	42.92	45.59	36.27	9.68	145.58	15.11	56.96
26	女	5	魚沼市平均	16.67	20.99	39.29	45.08	48.33	36.88	9.46	153.23	14.55	59.95
22	女	5	県平均	16.97	18.60	38.60	42.18	46.62	36.51	9.62	148.68	14.49	57.62
26	女	5	県平均	16.82	19.36	39.19	42.98	47.81	36.78	9.57	149.41	14.39	58.32
22	女	6	魚沼市平均	19.56	20.06	40.60	44.05	48.40	36.90	9.28	158.56	17.59	61.96
26	女	6	魚沼市平均	19.12	21.18	42.51	45.99	57.02	38.84	9.29	157.65	16.46	63.48
22	女	6	県平均	19.96	19.76	40.77	44.67	51.71	37.65	9.24	158.03	16.56	62.50
26	女	6	県平均	19.84	20.63	41.50	45.03	52.62	37.86	9.22	157.96	16.17	63.04

太数字は実施年度の県平均を上回った数値。

濃い網掛けは魚沼市の各平均値で、22年度より26年度の数値が上昇したもの。

(参考) 平均得点合計の比較(各学年の平均得点合計をまとめたもの。)

		男	女	男女計		男	女	男女計
22	魚沼市平均	284.78	285.44	570.23	県平均	285.47	288.77	574.24
26	魚沼市平均	292.46	300.21	592.67	県平均	286.17	293.18	579.35

中学生の体力測定結果

実施年度	性別	学年	地区名	握力平均(kg)	上体起こし平均(回)	長座体前屈平均(cm)	反復横とび平均(回)	シャトルラン平均(回)	最大酸素摂取量平均	50m走平均(秒)	立ち幅跳び平均(cm)	ハンドボール投平均(m)	平均得点合計
22	男	1	魚沼市平均	26.41	25.85	40.63	50.07	72.70	42.37	8.69	183.80	18.96	36.27
26	男	1	魚沼市平均	26.16	24.90	42.15	50.05	73.80	42.62	8.56	184.80	19.06	36.76
22	男	1	県平均	25.29	24.65	41.74	49.47	73.10	42.47	8.58	184.36	18.54	35.87
26	男	1	県平均	24.70	24.84	41.99	49.46	74.42	42.77	8.56	184.63	18.23	40.23
22	男	2	魚沼市平均	31.79	28.96	46.20	53.59	87.99	45.91	8.13	202.13	21.41	44.83
26	男	2	魚沼市平均	31.35	29.05	42.24	51.24	88.43	45.91	8.05	198.27	21.32	43.29
22	男	2	県平均	30.92	28.22	45.91	52.23	87.83	45.78	7.99	202.11	21.79	44.50
26	男	2	県平均	30.14	28.74	45.65	52.51	89.06	46.06	7.96	201.34	21.62	50.31
22	男	3	魚沼市平均	36.71	30.55	46.08	53.20	85.81	45.32	7.74	210.85	23.39	48.48
26	男	3	魚沼市平均	36.56	31.22	50.53	55.48	99.32	48.36	7.56	216.30	23.70	52.02
22	男	3	県平均	36.19	30.13	49.25	54.61	92.69	46.87	7.60	214.74	24.20	50.68
26	男	3	県平均	35.52	30.95	49.63	54.89	94.46	47.28	7.57	214.94	24.40	56.78
22	女	1	魚沼市平均	23.14	21.86	42.62	45.54	55.71	38.55	9.30	163.54	11.36	44.82
26	女	1	魚沼市平均	23.02	22.31	45.30	46.06	57.52	38.96	9.04	167.79	11.68	47.26
22	女	1	県平均	22.35	21.45	44.84	45.38	55.47	38.50	9.04	167.47	11.72	46.15
26	女	1	県平均	21.95	21.51	45.38	45.52	56.21	38.67	9.05	167.24	11.46	51.97
22	女	2	魚沼市平均	25.23	24.02	45.72	46.43	60.62	39.65	8.96	171.24	13.32	50.58
26	女	2	魚沼市平均	25.93	25.15	46.31	46.05	59.06	39.30	8.89	171.13	13.49	51.35
22	女	2	県平均	24.47	23.44	47.25	46.07	59.33	39.37	8.82	171.69	13.09	50.47
26	女	2	県平均	24.29	24.18	48.47	46.58	60.78	39.70	8.82	172.31	13.00	57.53
22	女	3	魚沼市平均	25.70	25.02	47.22	46.71	60.13	39.55	8.76	169.25	14.20	52.34
26	女	3	魚沼市平均	27.14	26.52	48.85	47.80	61.98	39.96	8.74	176.58	14.21	54.83
22	女	3	県平均	25.70	24.19	48.82	46.34	57.15	38.88	8.81	173.14	13.87	52.09
26	女	3	県平均	25.65	25.27	50.55	47.15	59.53	39.42	8.74	174.14	13.74	59.04

太数字は実施年度の県平均を上回った数値。

濃い網掛けは魚沼市の各平均値で、22年度より26年度の数値が上昇したものの。

(参考) 平均得点合計の比較(各学年の平均得点合計をまとめたもの。)

		男	女	男女計		男	女	男女計
22	魚沼市平均	129.57	147.73	277.31	県平均	131.05	148.71	279.77
26	魚沼市平均	132.07	153.44	285.51	県平均	147.33	168.54	315.87

魚沼市スポーツ少年団 団員・指導者数の推移

年度等	指 導 者						有資格指導者				団 員			合計数
	更新		新規		計	育成	認定	計	男子	女子	計			
	男性	女性	男性	女性										
27年度県登録数	243	30	36	5	314	0	154	154	604	373	977	1,291		
26年度県登録数	261	26	27	6	320	0	147	147	623	371	993	1,314		
25年度県登録数	289	25	26	6	346	0	146	146	694	379	1,073	1,419		
24年度県登録数	281	23	34	6	344	0	146	146	717	385	1,104	1,455		
23年度県登録数	267	22	41	3	333	0	146	146	753	393	1,146	1,479		
22年度県登録数	293	24	30	8	355	1	156	157	811	419	1,230	1,585		
21年度県登録数	304	29	31	4	368	1	162	163	878	393	1,271	1,647		
20年度県登録数	320	35	45	7	407	2	176	176	1,063	492	1,555	1,962		
19年度県登録数	308	31	48	7	394	1	179	180	1,028	462	1,490	1,863		
18年度県登録数	237	19	101	16	370	1	173	174	976	401	1,377	1,747		
17年度県登録数					328			114	877	402	1,279	1,607		

平成27年度小学校生徒数

1,822人

平成27年度中学校児童数

1,070人

魚沼市 健康と食に関するアンケート

《結果報告》 抜 粋

平成 27 年度
魚沼市 健康課

調査の概要

1. 調査目的

この調査は、市民の皆さまの健康づくりや食に対する意識や関心、日ごろの生活についておたずねするもので、その結果は、それぞれの計画の推進のための基礎資料として活用させていただきます。

2. 調査対象及び抽出方法

調査対象として平成27年4月1日現在、魚沼市住民基本台帳に登録されている20歳以上90歳未満の市民1,000人を無作為に抽出し、実施した。

抽出方法は、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80歳以上の区分で、旧町村別に、人口構成比、男女比で按分して行った。

3. 調査方法

調査票を郵送により発送し、郵送による回収を行った。

4. 調査実施期間

平成27年4月1日～平成27年4月27日

5. 回収状況（率）

回収数 516件

回収率 51.6%

<注意点>

(1) 百分率(%)の表示は、小数点以下第2位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計100%にならないことがある。

また、複数回答(2つ以上の回答)では、合計が100%を超える場合がある。

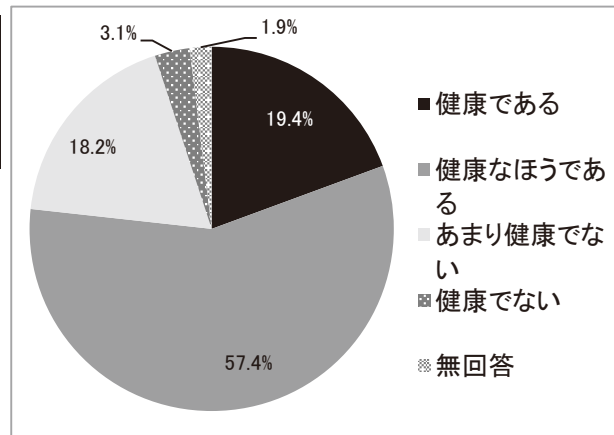
(2) 質問に対する回答者の総数を示す「n (number of casesの略)」は、nの値が516以外の場合のみ表示した。

【Ⅱ 健康づくりに関する項目】

「健康」についてお聞きます。

問6 ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(〇は1つ)

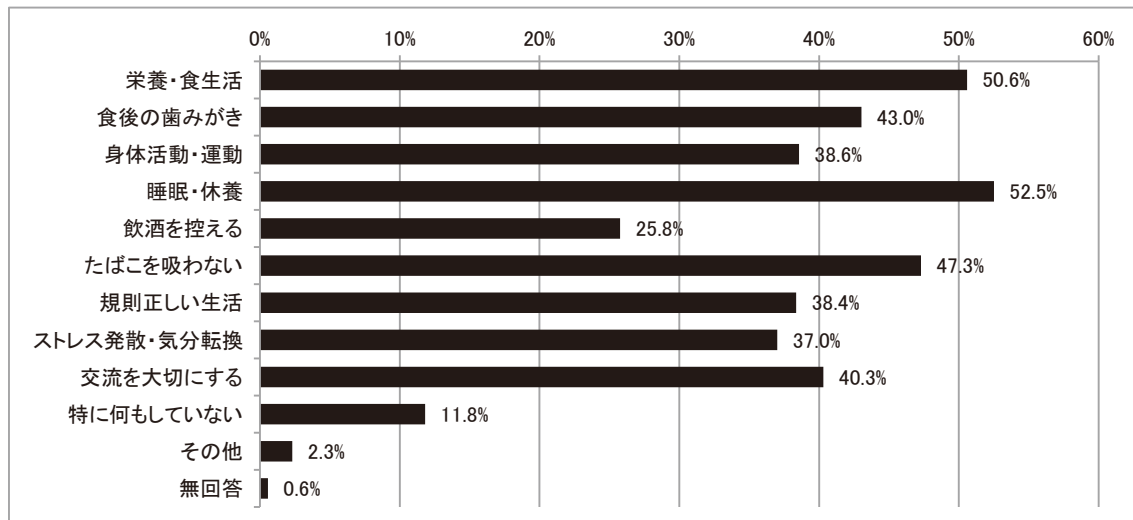
選択肢	人数	割合(%)
1. 健康である	100	19.4%
2. 健康なほうである	296	57.4%
3. あまり健康でない	94	18.2%
4. 健康でない	16	3.1%
5. 無回答	10	1.9%



区分		回答者数	1	2	3	4	5
性別	男性	234	46 19.7%	128 54.7%	48 20.5%	7 3.0%	5 2.1%
	女性	277	54 19.5%	166 59.9%	44 15.9%	8 2.9%	5 1.8%
	無回答	5	0 0.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	39	13 33.3%	19 48.7%	5 12.8%	1 2.6%	1 2.6%
	30歳代	67	20 29.9%	38 56.7%	7 10.4%	1 1.5%	1 1.5%
	40歳代	55	16 29.1%	27 49.1%	9 16.4%	2 3.6%	1 1.8%
	50歳代	72	11 15.3%	50 69.4%	9 12.5%	2 2.8%	0 0.0%
	60歳代	83	13 15.7%	50 60.2%	17 20.5%	1 1.2%	2 2.4%
	70歳代	100	17 17.0%	61 61.0%	16 16.0%	4 4.0%	2 2.0%
	80歳代以上	100	10 10.0%	51 51.0%	31 31.0%	5 5.0%	3 3.0%
性別×年代別	男性×20歳代	17	4	9	3	0	1
	男性×30歳代	22	7	10	4	0	1
	男性×40歳代	25	8	11	6	0	0
	男性×50歳代	30	6	18	5	1	0
	男性×60歳代	33	4	21	7	0	1
	男性×70歳代	56	10	34	9	3	0
	男性×80歳代以上	51	7	25	14	3	2
	女性×20歳代	22	9	10	2	1	0
	女性×30歳代	45	13	28	3	1	0
	女性×40歳代	30	8	16	3	2	1
	女性×50歳代	42	5	32	4	1	0
	女性×60歳代	49	9	29	9	1	1
	女性×70歳代	42	7	27	6	0	2
	女性×80歳代以上	47	3	24	17	2	1
	無回答×60歳代	1	0	0	1	0	0
無回答×70歳代	2	0	0	1	1	0	
無回答×80歳代以上	2	0	2	0	0	0	

問7 健康のためにどのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

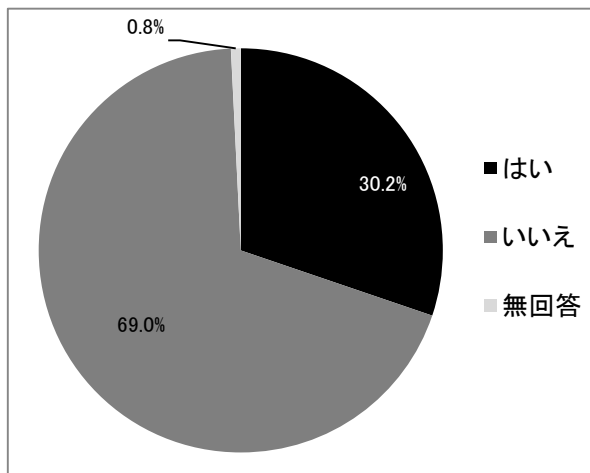
選択肢	人数	割合(%)
1. 栄養・食生活に気をつける	261	50.6%
2. 食後の歯みがきをする	222	43.0%
3. 適度な身体活動・運動をする	199	38.6%
4. 睡眠や休養を十分とる	271	52.5%
5. 飲酒を控える	133	25.8%
6. たばこを吸わない	244	47.3%
7. 規則正しい生活をする	198	38.4%
8. ストレス発散や気分転換をする	191	37.0%
9. 身近な人や仲間との交流を大切にする	208	40.3%
10. 特に何もしていない	61	11.8%
11. その他	12	2.3%
12. 無回答	3	0.6%



区分		回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
性別	男性	234	101 43.2%	76 32.5%	98 41.9%	113 48.3%	69 29.5%	117 50.0%	78 33.3%	67 28.6%	77 32.9%	35 15.0%	3 1.3%	1 0.4%
	女性	277	158 57.0%	143 51.6%	98 35.4%	155 56.0%	63 22.7%	126 45.5%	118 42.6%	122 44.0%	129 46.6%	26 9.4%	9 3.2%	2 0.7%
	無回答	5	2 40.0%	3 60.0%	3 60.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	39	20 51.3%	22 56.4%	10 25.6%	16 41.0%	12 30.8%	23 59.0%	12 30.8%	12 30.8%	9 23.1%	5 12.8%	2 5.1%	1 2.6%
	30歳代	67	27 40.3%	28 41.8%	15 22.4%	34 50.7%	11 16.4%	29 43.3%	18 26.9%	25 37.3%	16 23.9%	17 25.4%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	55	25 45.5%	22 40.0%	9 16.4%	23 41.8%	16 29.1%	25 45.5%	17 30.9%	21 38.2%	9 16.4%	9 16.4%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	72	40 55.6%	32 44.4%	19 26.4%	32 44.4%	14 19.4%	24 33.3%	28 38.9%	34 47.2%	18 25.0%	9 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳代	83	40 48.2%	38 45.8%	31 37.3%	43 51.8%	16 19.3%	42 50.6%	38 45.8%	32 38.6%	33 39.8%	9 10.8%	2 2.4%	2 2.4%
	70歳代	100	57 57.0%	42 42.0%	57 57.0%	63 63.0%	33 33.0%	49 49.0%	40 40.0%	42 42.0%	66 66.0%	5 5.0%	1 1.0%	0 0.0%
	80歳代以上	100	52 52.0%	38 38.0%	58 58.0%	60 60.0%	31 31.0%	52 52.0%	45 45.0%	25 25.0%	57 57.0%	7 7.0%	7 7.0%	0 0.0%
性別×年代別	男性×20歳代	17	5	8	6	3	5	8	2	1	3	3	0	1
	男性×30歳代	22	5	7	6	9	3	5	3	5	3	8	0	0
	男性×40歳代	25	9	6	3	9	6	8	5	7	1	5	0	0
	男性×50歳代	30	12	12	8	13	5	12	13	14	7	5	0	0
	男性×60歳代	33	16	10	12	16	6	18	11	11	10	6	0	0
	男性×70歳代	56	29	21	30	35	23	32	21	21	29	3	0	0
	男性×80歳代以上	51	25	12	33	28	21	34	23	8	24	5	3	0
	女性×20歳代	22	15	14	4	13	7	15	10	11	6	2	2	0
	女性×30歳代	45	22	21	9	25	8	24	15	20	13	9	0	0
	女性×40歳代	30	16	16	6	14	10	17	12	14	8	4	0	0
	女性×50歳代	42	28	20	11	19	9	12	15	20	11	4	0	0
	女性×60歳代	49	24	28	18	26	10	24	26	20	23	3	2	2
	女性×70歳代	42	26	19	26	28	10	17	19	21	36	2	1	0
	女性×80歳代以上	47	27	25	24	30	9	17	21	16	32	2	4	0
	無回答×60歳代	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	無回答×70歳代	2	2	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
無回答×80歳代以上	2	0	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	0	

問8 健康維持の目安として、家庭で血圧を計測していますか。

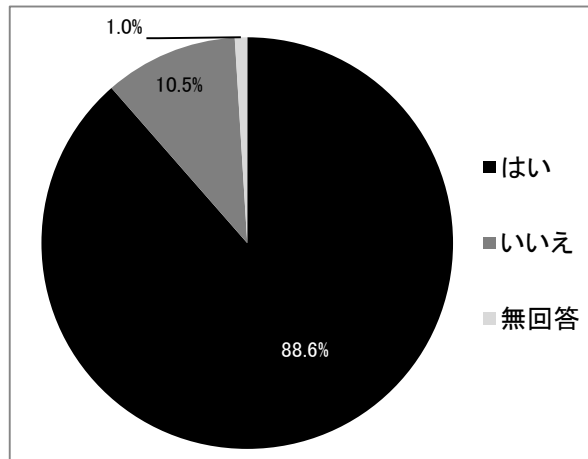
選択肢	人数	割合(%)
1. はい	156	30.2%
2. いいえ	356	69.0%
3. 無回答	4	0.8%



区分		回答者数	1	2	3
性別	男性	234	77 32.9%	156 66.7%	1 0.4%
	女性	277	77 27.8%	197 71.1%	3 1.1%
	無回答	5	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	39	1 2.6%	37 94.9%	1 2.6%
	30歳代	67	0 0.0%	67 100.0%	0 0.0%
	40歳代	55	3 5.5%	52 94.5%	0 0.0%
	50歳代	72	18 25.0%	54 75.0%	0 0.0%
	60歳代	83	30 36.1%	52 62.7%	1 1.2%
	70歳代	100	58 58.0%	40 40.0%	2 2.0%
	80歳代以上	100	46 46.0%	54 54.0%	0 0.0%
性別×年代別	男性×20歳代	17	0	16	1
	男性×30歳代	22	0	22	0
	男性×40歳代	25	3	22	0
	男性×50歳代	30	5	25	0
	男性×60歳代	33	11	22	0
	男性×70歳代	56	33	23	0
	男性×80歳代以上	51	25	26	0
	女性×20歳代	22	1	21	0
	女性×30歳代	45	0	45	0
	女性×40歳代	30	0	30	0
	女性×50歳代	42	13	29	0
	女性×60歳代	49	19	29	1
	女性×70歳代	42	24	16	2
	女性×80歳代以上	47	20	27	0
	無回答×60歳代	1	0	1	0
無回答×70歳代	2	1	1	0	
無回答×80歳代以上	2	1	1	0	

問9 過去1年間に健康診断を受けたことがありますか。
 (職場での健康診断や、市の住民健診、個人的な健康診断など)

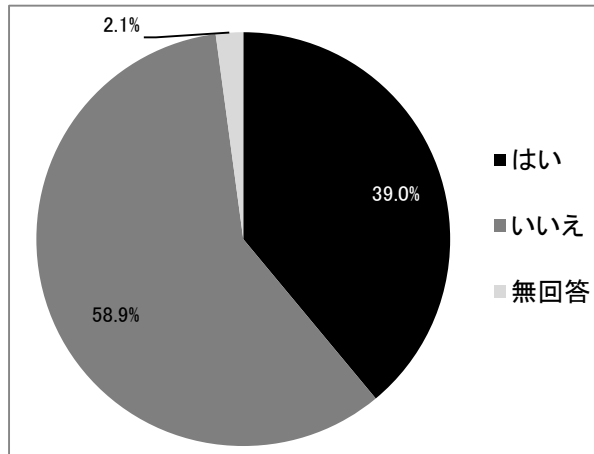
選択肢	人数	割合(%)
1. はい	457	88.6%
2. いいえ	54	10.5%
3. 無回答	5	1.0%



区分		回答者数	1	2	3
性別	男性	234	206 88.0%	25 10.7%	3 1.3%
	女性	277	246 88.8%	29 10.5%	2 0.7%
	無回答	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	39	31 79.5%	7 17.9%	1 2.6%
	30歳代	67	57 85.1%	10 14.9%	0 0.0%
	40歳代	55	48 87.3%	6 10.9%	1 1.8%
	50歳代	72	70 97.2%	2 2.8%	0 0.0%
	60歳代	83	77 92.8%	5 6.0%	1 1.2%
	70歳代	100	89 89.0%	10 10.0%	1 1.0%
	80歳代以上	100	85 85.0%	14 14.0%	1 1.0%
性別×年代別	男性×20歳代	17	11	5	1
	男性×30歳代	22	18	4	0
	男性×40歳代	25	22	2	1
	男性×50歳代	30	30	0	0
	男性×60歳代	33	31	2	0
	男性×70歳代	56	51	5	0
	男性×80歳代以上	51	43	7	1
	女性×20歳代	22	20	2	0
	女性×30歳代	45	39	6	0
	女性×40歳代	30	26	4	0
	女性×50歳代	42	40	2	0
	女性×60歳代	49	45	3	1
	女性×70歳代	42	36	5	1
	女性×80歳代以上	47	40	7	0
	無回答×60歳代	1	1	0	0
無回答×70歳代	2	2	0	0	
無回答×80歳代以上	2	2	0	0	

問 10 健康寿命を知っていますか。(○は1つ)

選択肢	人数	割合(%)
1. はい	201	39.0%
2. いいえ	304	58.9%
3. 無回答	11	2.1%

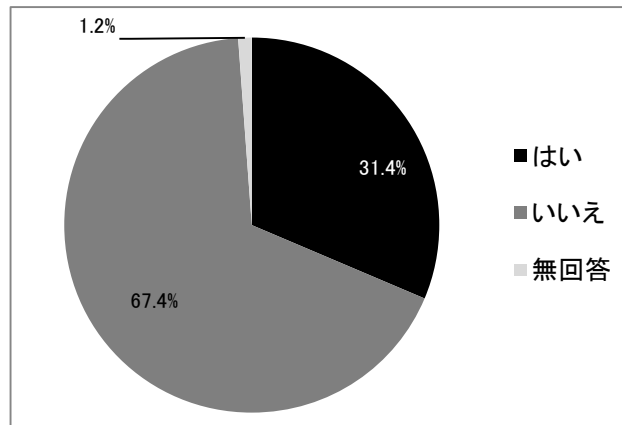


区分		回答者数	1	2	3
性別	男性	234	85 36.3%	144 61.5%	5 2.1%
	女性	277	115 41.5%	156 56.3%	6 2.2%
	無回答	5	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%
年代別	20 歳代	39	14 35.9%	24 61.5%	1 2.6%
	30 歳代	67	15 22.4%	52 77.6%	0 0.0%
	40 歳代	55	12 21.8%	43 78.2%	0 0.0%
	50 歳代	72	36 50.0%	36 50.0%	0 0.0%
	60 歳代	83	29 34.9%	52 62.7%	2 2.4%
	70 歳代	100	49 49.0%	47 47.0%	4 4.0%
	80 歳代以上	100	46 46.0%	50 50.0%	4 4.0%
性別×年代別	男性×20 歳代	17	6	10	1
	男性×30 歳代	22	7	15	0
	男性×40 歳代	25	3	22	0
	男性×50 歳代	30	16	14	0
	男性×60 歳代	33	7	26	0
	男性×70 歳代	56	21	34	1
	男性×80 歳代以上	51	25	23	3
	女性×20 歳代	22	8	14	0
	女性×30 歳代	45	8	37	0
	女性×40 歳代	30	9	21	0
	女性×50 歳代	42	20	22	0
	女性×60 歳代	49	22	25	2
	女性×70 歳代	42	27	12	3
	女性×80 歳代以上	47	21	25	1
	無回答×60 歳代	1	0	1	0
無回答×70 歳代	2	1	1	0	
無回答×80 歳代以上	2	0	2	0	

「運動習慣」についてお聞きします。

問 11 運動を継続して行っていますか。(継続の目安：1日30分以上、週2日以上、1年以上継続)

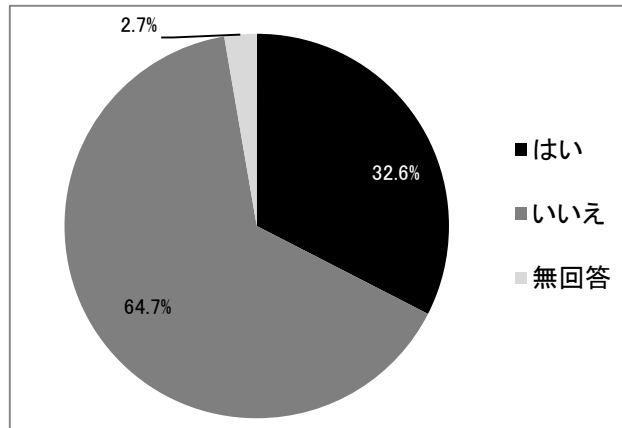
選択肢	人数	割合(%)
1. はい	162	31.4%
2. いいえ	348	67.4%
3. 無回答	6	1.2%



区分		回答者数	1	2	3
性別	男性	234	82 35.0%	149 63.7%	3 1.3%
	女性	277	79 28.5%	196 70.8%	2 0.7%
	無回答	5	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%
年代別	20歳代	39	8 20.5%	30 76.9%	1 2.6%
	30歳代	67	9 13.4%	58 86.6%	0 0.0%
	40歳代	55	11 20.0%	44 80.0%	0 0.0%
	50歳代	72	15 20.8%	57 79.2%	0 0.0%
	60歳代	83	22 26.5%	61 73.5%	0 0.0%
	70歳代	100	51 51.0%	47 47.0%	2 2.0%
	80歳代以上	100	46 46.0%	51 51.0%	3 3.0%
地域別	堀之内	88	25 28.4%	63 71.6%	0 0.0%
	小出	91	34 37.4%	57 62.6%	0 0.0%
	湯之谷	79	26 32.9%	53 67.1%	0 0.0%
	広神	83	25 30.1%	56 67.5%	2 2.4%
	守門	93	27 29.0%	64 68.8%	2 2.2%
	入広瀬	81	25 30.9%	55 67.9%	1 1.2%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
職業別	自営業	45	20 44.4%	25 55.6%	0 0.0%
	正社員	153	26 17.0%	127 83.0%	0 0.0%
	パート・アルバイト・非常勤	69	12 17.4%	57 82.6%	0 0.0%
	派遣・登録社員	8	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%
	在宅就労・内職	13	5 38.5%	8 61.5%	0 0.0%
	家事（専業）	83	37 44.6%	44 53.0%	2 2.4%
	学生	6	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%
	仕事をしていない	110	48 43.6%	59 53.6%	3 2.7%
	その他	21	10 47.6%	11 52.4%	0 0.0%
	無回答	8	3 37.5%	5 62.5%	0 0.0%
性別×年代別	男性×20歳代	17	6	10	1
	男性×30歳代	22	5	17	0
	男性×40歳代	25	7	18	0
	男性×50歳代	30	5	25	0
	男性×60歳代	33	8	25	0
	男性×70歳代	56	27	29	0
	男性×80歳代以上	51	24	25	2
	女性×20歳代	22	2	20	0
	女性×30歳代	45	4	41	0
	女性×40歳代	30	4	26	0
	女性×50歳代	42	10	32	0
	女性×60歳代	49	13	36	0
	女性×70歳代	42	24	16	2
	女性×80歳代以上	47	22	25	0
	無回答×60歳代	1	1	0	0
無回答×70歳代	2	0	2	0	
無回答×80歳代以上	2	0	1	1	

問 12 趣味や楽しみのため、月 1 回以上運動をしていますか。

選択肢	人数	割合 (%)
1. はい	168	32.6%
2. いいえ	334	64.7%
3. 無回答	14	2.7%

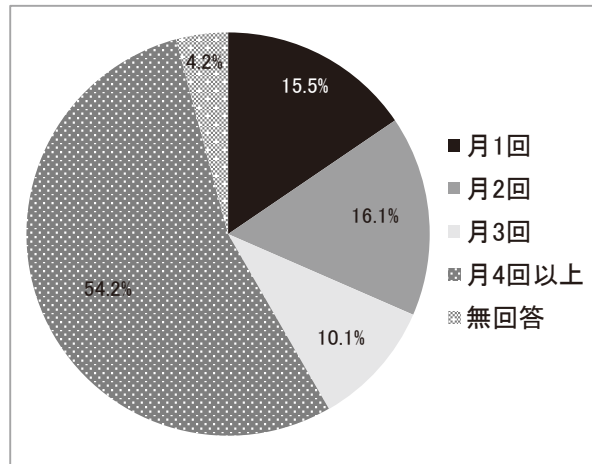


区分		回答者数	1	2	3
性別	男性	234	88 37.6%	139 59.4%	7 3.0%
	女性	277	79 28.5%	191 69.0%	7 2.5%
	無回答	5	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%
年代別	20 歳代	39	7 17.9%	31 79.5%	1 2.6%
	30 歳代	67	16 23.9%	51 76.1%	0 0.0%
	40 歳代	55	14 25.5%	41 74.5%	0 0.0%
	50 歳代	72	19 26.4%	53 73.6%	0 0.0%
	60 歳代	83	30 36.1%	51 61.4%	2 2.4%
	70 歳代	100	46 46.0%	49 49.0%	5 5.0%
	80 歳代以上	100	36 36.0%	58 58.0%	6 6.0%
地域別	堀之内	88	27 30.7%	60 68.2%	1 1.1%
	小出	91	34 37.4%	54 59.3%	3 3.3%
	湯之谷	79	31 39.2%	45 57.0%	3 3.8%
	広神	83	24 28.9%	58 69.9%	1 1.2%
	守門	93	25 26.9%	65 69.9%	3 3.2%
	入広瀬	81	27 33.3%	52 64.2%	2 2.5%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
性別×年代別	男性×20 歳代	17	5	11	1
	男性×30 歳代	22	8	14	0
	男性×40 歳代	25	9	16	0
	男性×50 歳代	30	8	22	0
	男性×60 歳代	33	14	19	0
	男性×70 歳代	56	24	30	2
	男性×80 歳代以上	51	20	27	4
	女性×20 歳代	22	2	20	0
	女性×30 歳代	45	8	37	0
	女性×40 歳代	30	5	25	0
	女性×50 歳代	42	11	31	0
	女性×60 歳代	49	15	32	2
	女性×70 歳代	42	22	17	3
	女性×80 歳代以上	47	16	29	2
	無回答×60 歳代	1	1	0	0
無回答×70 歳代	2	0	2	0	
無回答×80 歳代以上	2	0	2	0	

問 13 問 12 で「はい」とお答えの方にお聞きます。どのくらいの頻度で運動をしていますか。(○は1つ)

選択肢	人数	割合(%)
1. 月1回	26	15.5%
2. 月2回	27	16.1%
3. 月3回	17	10.1%
4. 月4回以上	91	54.2%
5. 無回答	7	4.2%

(n : 168)



区分		回答者数	1	2	3	4	5
性別	男性	88	14 15.9%	17 19.3%	10 11.4%	45 51.1%	2 2.3%
	女性	79	12 15.2%	10 12.7%	7 8.9%	45 57.0%	5 6.3%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	7	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%
	30歳代	16	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	10 62.5%	0 0.0%
	40歳代	14	3 21.4%	5 35.7%	1 7.1%	5 35.7%	0 0.0%
	50歳代	19	6 31.6%	2 10.5%	4 21.1%	7 36.8%	0 0.0%
	60歳代	30	5 16.7%	7 23.3%	1 3.3%	17 56.7%	0 0.0%
	70歳代	46	4 8.7%	5 10.9%	6 13.0%	28 60.9%	3 6.5%
	80歳代以上	36	4 11.1%	4 11.1%	3 8.3%	21 58.3%	4 11.1%
性別×年代別	男性×20歳代	5	1	1	1	2	0
	男性×30歳代	8	1	2	0	5	0
	男性×40歳代	9	1	4	1	3	0
	男性×50歳代	8	4	1	1	2	0
	男性×60歳代	14	2	4	0	8	0
	男性×70歳代	24	2	2	5	13	2
	男性×80歳代以上	20	3	3	2	12	0
	女性×20歳代	2	0	1	0	1	0
	女性×30歳代	8	2	0	1	5	0
	女性×40歳代	5	2	1	0	2	0
	女性×50歳代	11	2	1	3	5	0
	女性×60歳代	15	3	3	1	8	0
	女性×70歳代	22	2	3	1	15	1
	女性×80歳代以上	16	1	1	1	9	4
	無回答×60歳代	1	0	0	0	1	0
無回答×70歳代	0	0	0	0	0	0	
無回答×80歳代以上	0	0	0	0	0	0	

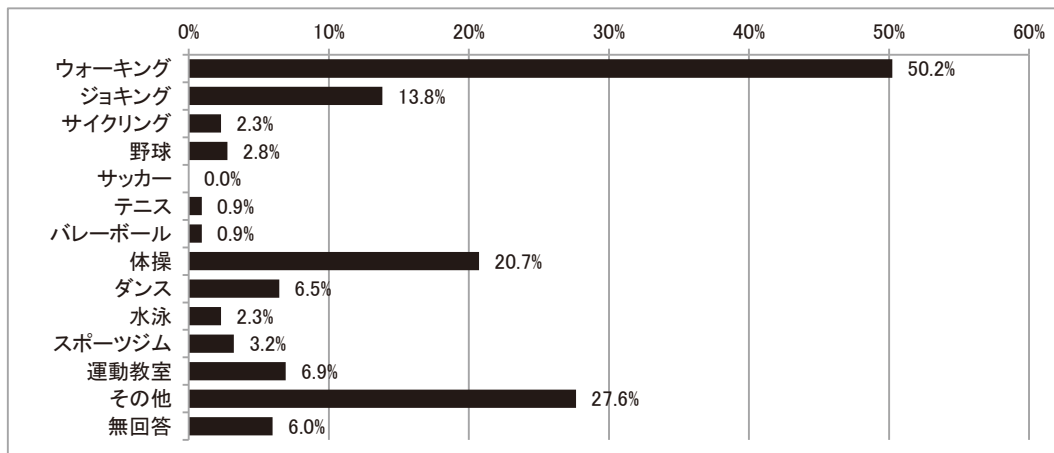
問 14 問 11、問 12 で「はい」とお答えの方にお聞きします。

① どのような運動をしていますか。(〇はいくつでも)

選択肢	人数	割合 (%)
1. ウォーキング	109	50.2%
2. ジョギング	30	13.8%
3. サイクリング	5	2.3%
4. 野球	6	2.8%
5. サッカー	0	0.0%
6. テニス	2	0.9%
7. バレーボール	2	0.9%
8. 体操	45	20.7%
9. ダンス	14	6.5%
10. 水泳	5	2.3%
11. スポーツジム	7	3.2%
12. 運動教室	15	6.9%
13. その他	60	27.6%
14. 無回答	13	6.0%

問 11・問 12 が「はい」	113 名
問 11 のみが「はい」	49 名
問 12 のみが「はい」	55 名

(n : 217)

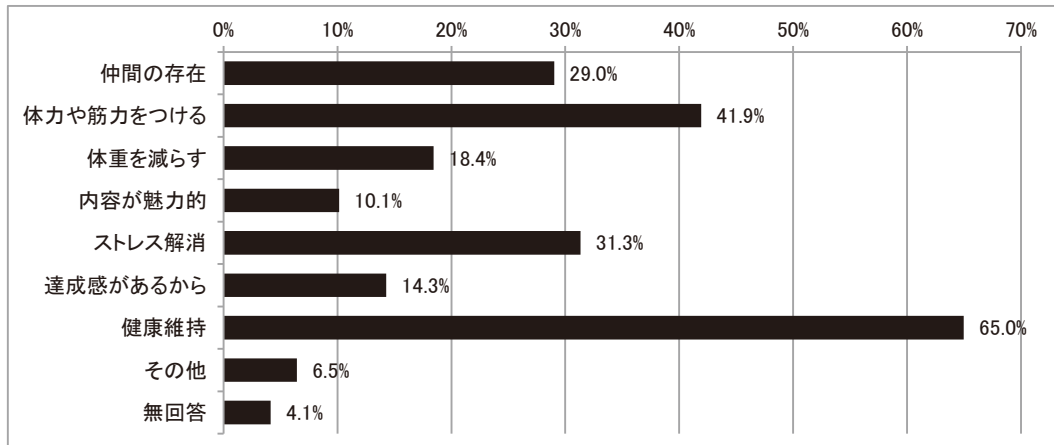


区分		回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
性別	男性	110	58 52.7%	19 17.3%	3 2.7%	6 5.5%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	19 17.3%	1 0.9%	0 0.0%	4 3.6%	2 1.8%	39 35.5%	3 2.7%	
	女性	106	51 48.1%	11 10.4%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	2 1.9%	26 24.5%	13 12.3%	5 4.7%	3 2.8%	13 12.3%	20 18.9%	10 9.4%	
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
年代別	20 歳代	12	5 41.7%	3 25.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	3 25.0%
	30 歳代	17	4 23.5%	7 41.2%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	4 23.5%	1 5.9%	
	40 歳代	17	7 41.2%	4 23.5%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 29.4%	1 5.9%	
	50 歳代	24	11 45.8%	1 4.2%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 20.8%	3 12.5%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	9 37.5%	0 0.0%
	60 歳代	36	24 66.7%	3 8.3%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	5 13.9%	1 2.8%	1 2.8%	2 5.6%	1 2.8%	11 30.6%	1 2.8%	
	70 歳代	60	37 61.7%	9 15.0%	2 3.3%	1 1.7%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	13 21.7%	3 5.0%	2 3.3%	2 1.7%	10 16.7%	15 25.0%	0 0.0%	
	80 歳代以上	51	21 41.2%	3 5.9%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 35.3%	3 5.9%	0 0.0%	1 2.0%	2 3.9%	14 27.5%	7 13.7%	
性別×年代別	男性×20 歳代	8	3	3	0	1	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	
	男性×30 歳代	9	3	3	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	
	男性×40 歳代	10	5	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	
	男性×50 歳代	9	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	7	0	
	男性×60 歳代	15	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	
	男性×70 歳代	32	20	7	1	1	0	0	0	7	1	0	0	0	10	0	
	男性×80 歳代以上	27	15	2	1	0	0	0	0	9	0	0	1	1	8	1	
	女性×20 歳代	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	女性×30 歳代	8	1	4	0	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	0	
	女性×40 歳代	7	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	1	
	女性×50 歳代	15	9	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	0	2	0	
	女性×60 歳代	20	14	2	1	0	0	0	1	5	1	1	2	1	3	1	
	女性×70 歳代	28	17	2	1	0	0	1	1	6	2	2	1	10	5	0	
	女性×80 歳代以上	24	6	1	0	0	0	0	0	9	3	0	0	1	6	6	
	無回答×60 歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	無回答×70 歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無回答×80 歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

② その運動を継続できている、または継続している理由を教えてください。(〇はいくつでも)

選択肢	人数	割合(%)
1. 仲間の存在	63	29.0%
2. 体力や筋力をつける	91	41.9%
3. 体重を減らす	40	18.4%
4. 内容が魅力的	22	10.1%
5. ストレス解消	68	31.3%
6. 達成感があるから	31	14.3%
7. 健康維持	141	65.0%
8. その他	14	6.5%
9. 無回答	9	4.1%

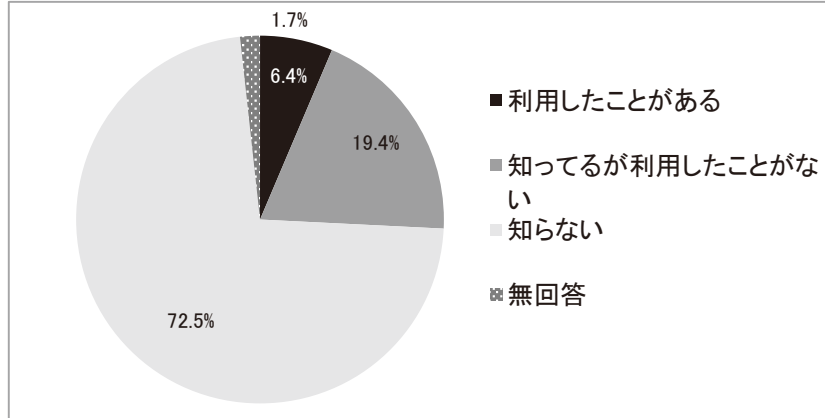
(n : 217)



区分		回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
性別	男性	110	25 22.7%	45 40.9%	19 17.3%	9 8.2%	31 28.2%	18 16.4%	69 62.7%	8 7.3%	3 2.7%
	女性	106	38 35.8%	46 43.4%	21 19.8%	13 12.3%	37 34.9%	13 12.3%	71 67.0%	6 5.7%	6 5.7%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
年代別	20歳代	12	1 8.3%	5 41.7%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	3 25.0%
	30歳代	17	8 47.1%	7 41.2%	6 35.3%	7 41.2%	4 23.5%	2 11.8%	5 29.4%	0 0.0%	1 5.9%
	40歳代	17	2 11.8%	7 41.2%	5 29.4%	1 5.9%	4 23.5%	3 17.6%	6 35.3%	3 17.6%	1 5.9%
	50歳代	24	9 37.5%	9 37.5%	5 20.8%	4 16.7%	9 37.5%	4 16.7%	13 54.2%	3 12.5%	0 0.0%
	60歳代	36	9 25.0%	16 44.4%	8 22.2%	3 8.3%	15 41.7%	8 22.2%	23 63.9%	1 2.8%	0 0.0%
	70歳代	60	25 41.7%	28 46.7%	11 18.3%	4 6.7%	24 40.0%	5 8.3%	51 85.0%	4 6.7%	0 0.0%
	80歳代以上	51	9 17.6%	19 37.3%	3 5.9%	3 5.9%	10 19.6%	8 15.7%	40 78.4%	1 2.0%	4 7.8%
性別×年代別	男性×20歳代	8	1	4	1	0	1	1	1	1	1
	男性×30歳代	9	3	5	4	2	1	1	3	0	1
	男性×40歳代	10	0	6	4	1	3	2	2	2	0
	男性×50歳代	9	4	3	1	2	3	4	5	1	0
	男性×60歳代	15	5	4	3	2	6	2	9	0	0
	男性×70歳代	32	10	13	3	2	13	3	26	3	0
	男性×80歳代以上	27	2	10	3	0	4	5	23	1	1
	女性×20歳代	4	0	1	1	0	1	0	2	1	2
	女性×30歳代	8	5	2	2	5	3	1	2	0	0
	女性×40歳代	7	2	1	1	0	1	1	4	1	1
	女性×50歳代	15	5	6	4	2	6	0	8	2	0
	女性×60歳代	20	4	12	5	1	9	6	13	1	0
	女性×70歳代	28	15	15	8	2	11	2	25	1	0
	女性×80歳代以上	24	7	9	0	3	6	3	17	0	3
	無回答×60歳代	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
無回答×70歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無回答×80歳代以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

問 15 市の「新潟県健康ウォーキングロード」を知っていますか、また、利用したことがありますか。(〇は1つ)

選択肢	人数	割合(%)
1. 利用したことがある	33	6.4%
2. 知っているが利用したことがない	100	19.4%
3. 知らない	374	72.5%
4. 無回答	9	1.7%



区分		回答者数	1	2	3	4
性別	男性	234	12 5.1%	45 19.2%	174 74.4%	3 1.3%
	女性	277	21 7.6%	54 19.5%	197 71.1%	5 1.8%
	無回答	5	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%
年代別	20歳代	39	1 2.6%	5 12.8%	32 82.1%	1 2.6%
	30歳代	67	8 11.9%	6 9.0%	53 79.1%	0 0.0%
	40歳代	55	4 7.3%	14 25.5%	37 67.3%	0 0.0%
	50歳代	72	3 4.2%	15 20.8%	54 75.0%	0 0.0%
	60歳代	83	7 8.4%	14 16.9%	62 74.7%	0 0.0%
	70歳代	100	7 7.0%	29 29.0%	62 62.0%	2 2.0%
	80歳代以上	100	3 3.0%	17 17.0%	74 74.0%	6 6.0%
地域別	堀之内	88	7 8.0%	18 20.5%	61 69.3%	2 2.3%
	小出	91	17 18.7%	22 24.2%	52 57.1%	0 0.0%
	湯之谷	79	6 7.6%	17 21.5%	55 69.6%	1 1.3%
	広神	83	0 0.0%	13 15.7%	67 80.7%	3 3.6%
	守門	93	3 3.2%	13 14.0%	76 81.7%	1 1.1%
	入広瀬	81	0 0.0%	17 21.0%	63 77.8%	1 1.2%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
性別×年代別	男性×20歳代	17	1	1	14	1
	男性×30歳代	22	3	1	18	0
	男性×40歳代	25	1	8	16	0
	男性×50歳代	30	0	6	24	0
	男性×60歳代	33	2	5	26	0
	男性×70歳代	56	3	15	38	0
	男性×80歳代以上	51	2	9	38	2
	女性×20歳代	22	0	4	18	0
	女性×30歳代	45	5	5	35	0
	女性×40歳代	30	3	6	21	0
	女性×50歳代	42	3	9	30	0
	女性×60歳代	49	5	9	35	0
	女性×70歳代	42	4	13	23	2
	女性×80歳代以上	47	1	8	35	3
	無回答×60歳代	1	0	0	1	0
無回答×70歳代	2	0	1	1	0	
無回答×80歳代以上	2	0	0	1	1	

(参考)

週1回以上の運動実施率の算出について

魚沼市教育委員会生涯学習課

平成27年度 健康と食に関するアンケート

問11 継続した運動実施者（1日30分以上、週2日以上、1年以上継続）

162人・・・①

（平成21年度 158人）

問12 趣味や楽しみのため、月1回以上運動実施者

問13 うち月4回以上の実施者

※ 問11で「いいえ」（週2日の運動未達成者）のうち、問13で月4回以上の運動実施者

19人・・・②

（平成21年度 18人）

週1回の運動実施者

①162人+②19人=181人

週1回の運動実施率

$181人 / 516人（回収数） \times 100 = 35.08\%$

（平成21年度 $176人 / 677人 \times 100 = 26.00\%$ ）

魚沼市障害者計画

第4期魚沼市障害福祉計画

【期間：平成27年度～平成29年度】

(抜 粋)



平成27年3月
魚 沼 市

魚沼市の「障害」の表記について

「障害」の「害」の字は、身体障害者福祉法の制定の際に「礙（がい）」「碍（がい）」（礙（がい）の俗字）の字が当用漢字の制限を受けて使用できないため、代わりに使用されるようになりました。しかし、一般的に「害」という字には「ものごとの妨げになるような悪いこと」「わざわい」等の否定的な意味があり、マイナスイメージを与えるということやノーマライゼーションの社会を目指していくうえで、障害者に対する差別や偏見をなくす一つの方法として「障害」の「害」の字をひらがなで「障がい」と表記する動きが自治体や障害者を支援する団体、民間企業などにも広がっています。

一方、国は法令等における「障害」の表記については当面、現状の「障害」を用いることとし、今後、制度改革の集中期間内を目途に一定の結論を得ることを目指す」としており、「障害者手帳」、「障がい者世帯」など漢字とひらがなが混在することになるため、表記が複雑となる等逆にわかりにくいのではないかとの懸念もあります。

本市では、この表記について、表現から受ける考えは様々ありますが、字体にこだわらず福祉施策を進めていくこととし、今までどおり漢字表記「障害」と表記することとしました。

対象は、市が作成する公文書（条例、規則、市報、ホームページ、案内表示等）とし、他の団体等の表記を強制するものではありません。

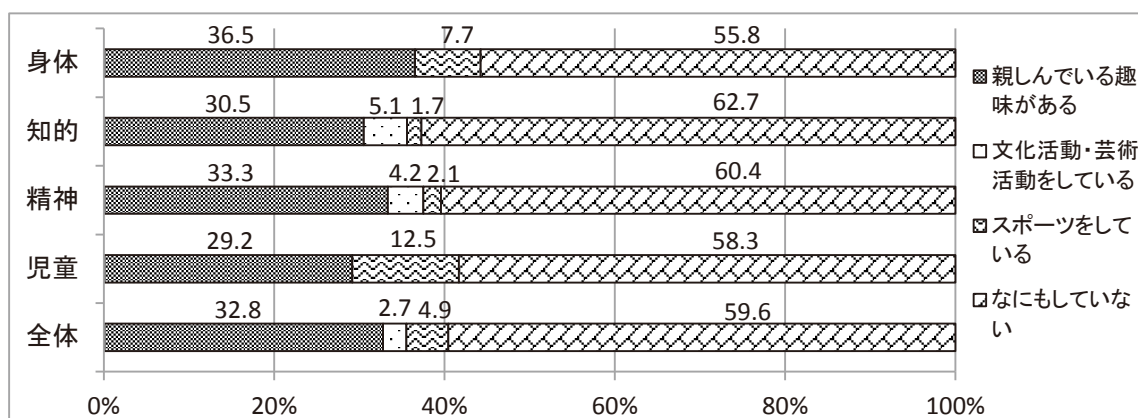
4 スポーツ・レクリエーション及び文化活動

【現状と課題】

スポーツ・レクリエーション及び文化・芸術活動を通じて社会に参加することは、ひとが輝き、生きる喜びを感じ、豊かな暮らしを実現するための重要な手段の一つです。

アンケート調査（有効回答124人、重複回答）では、全体で「何かしら趣味をお持ちの人」が32.8%、「何もしていない人」が59.6%という結果でした。

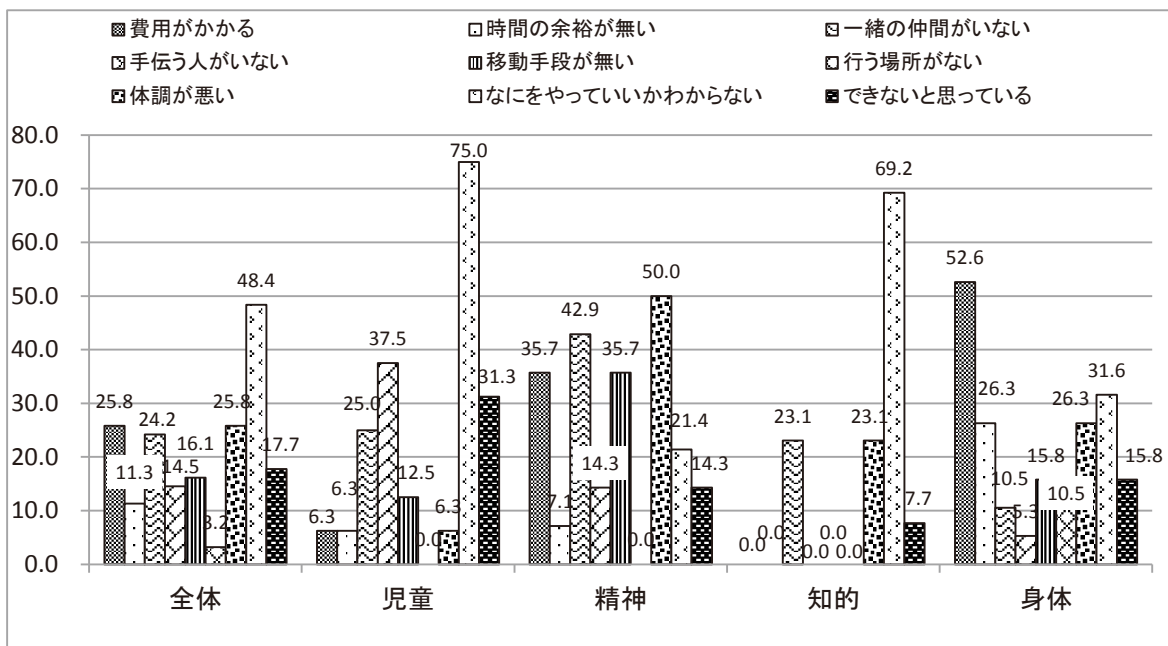
図2-6 余暇活動の状況



また、「現在何もしていない人（103人）」のうち、「何かしらに興味があるという人」は36.9%という結果です。

なお、「何かしらに興味がある人」で今できない理由は、全体で、「何をやっていいかわからない」、「費用がかかる」、「一緒の仲間がない」などの順で多くみられます。

図2-7 今できない理由



【施策の展開】

① スポーツ・レクリエーションの振興

「魚沼市スポーツ振興基本計画」との調和を図りながら、障害のある人が活動しやすい環境づくりを進めるとともに支援者の育成に取り組めます。

また、障害を理由に公共スポーツ施設等の利用が妨げられることのないよう引き続き配慮します。

② 文化・芸術活動の振興

「魚沼市社会教育計画」との調和を図りながら、スポーツ・レクリエーションと同様に、障害のある人が活動しやすい環境づくりに取り組めます。

③ 共通事項

障害のある人もない人も一緒に楽しめるメニューの提供を検討します。

また、都道府県単位で開催される障害者スポーツ大会や、障害者技能オリンピック(通称：アビリンピック)など「輝く場所」の周知を図るとともに、参加を呼びかけます。

7 ニーズ調査結果

(1) 障害者手帳所持者に対するアンケート結果

魚沼市障害者計画・障害福祉計画の改訂にあたり、その基礎資料として障害のある方の生活実態、ご意見、ご要望を把握し、計画中に反映することを目的に実施しました。

調査の方法

調査の手法	無作為抽出サンプリング調査
回収の方法	返信用封筒同封による郵送による回収
調査の対象	<ul style="list-style-type: none">・身体障害者手帳 1 級から 3 級で且つ 65 歳未満の方（以下身体障害者又は身体と表記）・療育手帳をお持ちの方で 18 歳以上の方（以下知的障害者又は知的と表記）・精神保健福祉手帳をお持ちの方（以下精神障害者又は精神と表記）・特別支援教育を受けている児童（以下児童と表記） ※年齢は平成 26 年 4 月 1 日現在
調査の時期	平成 26 年 9 月

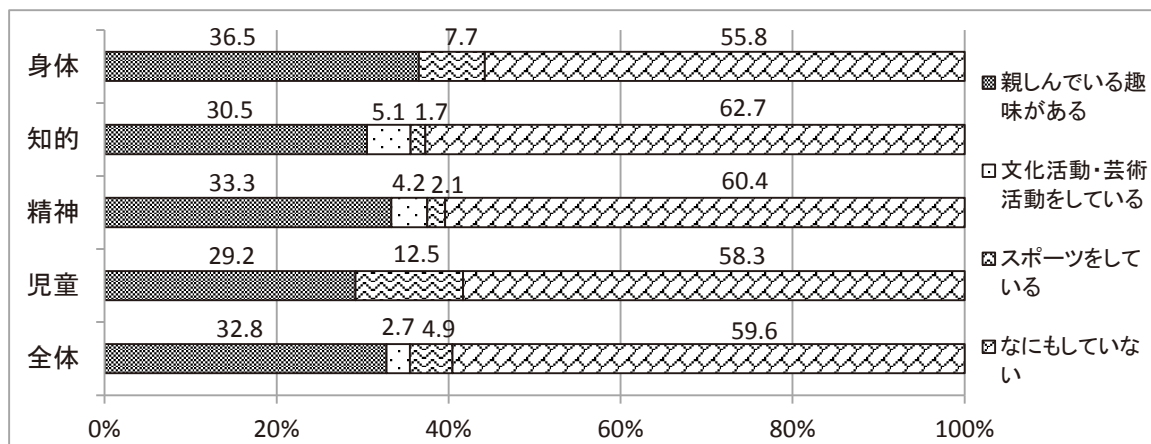
アンケート調査の状況

調査の対象区分	対象者数	抽出数	回収数	回収率
身体障害者	260	100	60	60%
知的障害者	333	100	57	57%
精神障害者	275	100	50	50%
児童	38	38	24	71%
合計	868	338	191	57%

キ 余暇活動に関すること

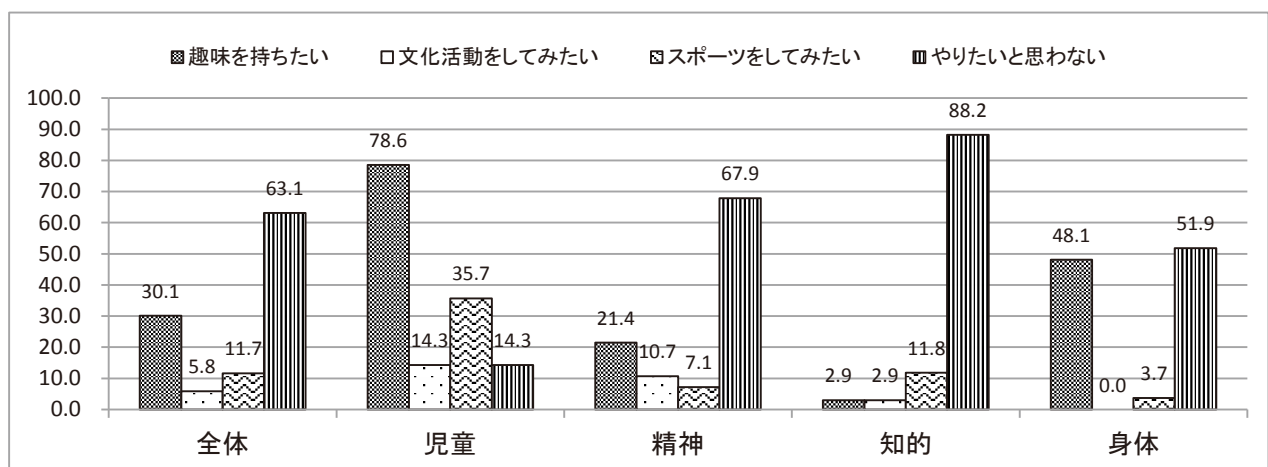
・余暇活動の状況

どの区分も似通った割合になっていて、何らかに親しんでいる方と「なにもしていない」方の割合は概ね4対6の比率となっています。



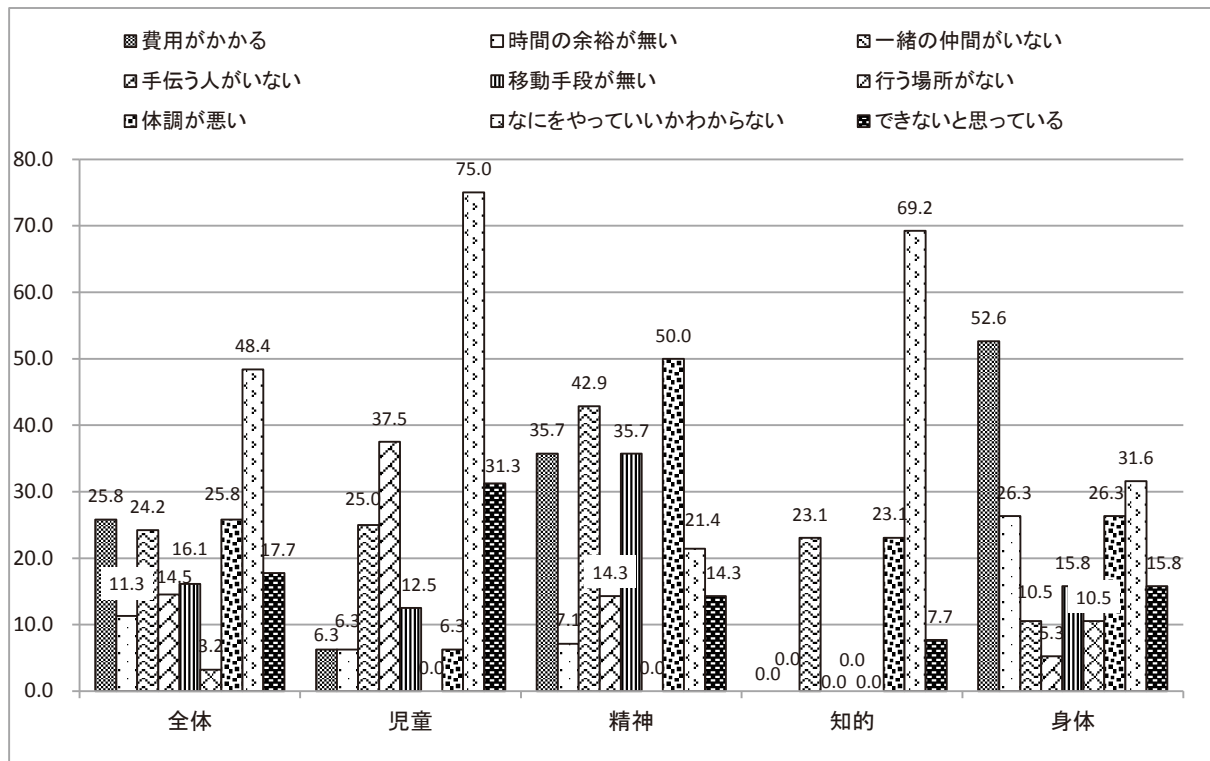
・何もしていない方の興味のある分野（重複回答）

「何もしていない方」のうち、「やりたいと思わない」方が全体で60%を超えています。身体、児童は、「何か趣味を持ちたい」方がそれぞれ48.1%、78.6%となっています。余暇活動に対する意欲は、児童が最も高い結果となっています。



・何もしていない方の今できない要因（重複回答）

今できない要因は、「何をやっていいかわからない」方が全体で48.4%と約半数を占めています。その他に、児童は「手伝う人がいない」方が37.5%、精神は「体調が悪い」方が50.0%、「一緒に仲間がいない」方が42.9%となっています。身体は、「費用がかかる」を上げた方が52.6%と最も高くなっています。



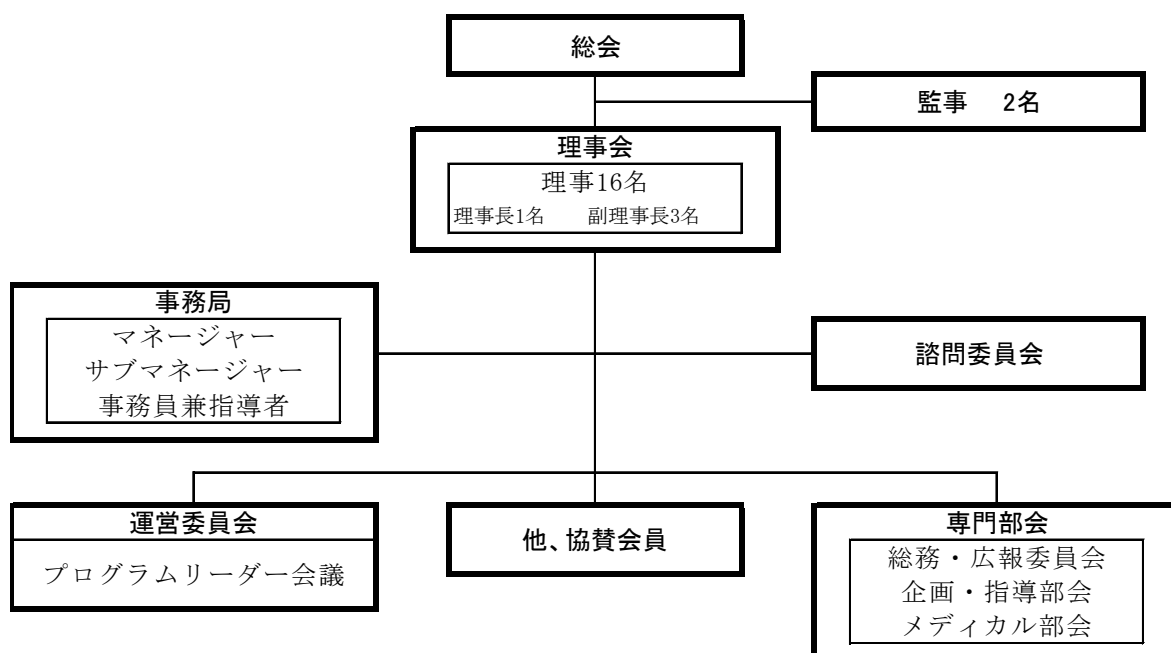
スポーツ関係団体の組織図

魚沼市体育協会加盟団体一覧

平成27年10月1日現在

NO	種目	団体名	登録チーム等の数	会員数
1	野球	魚沼市野球連盟	47	820
2	テニス	魚沼市テニス協会	16	136
3	ソフトテニス	魚沼市ソフトテニス協会	1	31
4	バレーボール	魚沼市バレーボール協会	15	83
5	柔道	魚沼市柔道連盟	5	45
6	陸上競技	魚沼市陸競技協会	1	64
7	バドミントン	魚沼市バドミントン協会	3	50
8	バスケットボール	魚沼市バスケットボール協会	2	46
9	スカイスports	小出郷スカイスports協会	1	20
10	バウンドテニス	魚沼市バウンドテニス協会	1	13
11	グラウンドゴルフ	魚沼市グラウンドゴルフ協会	1	72
12	弓道	魚沼市弓道協会	1	8
13	サッカー	魚沼市サッカー協会	5	102
14	ボウリング	魚沼市ボウリング協会	1	20
15	剣道	魚沼市剣道連盟	6	69
16	スキー	魚沼市スキー協会	7	241
17	ゲートボール	魚沼市ゲートボール連盟	6	391
18	マレットゴルフ	魚沼市マレットゴルフ協会	1	70
19	ソフトボール	魚沼市ソフトボール協会	4	73
20	卓球	魚沼市卓球協会	4	69
21	少林寺拳法	魚沼市少林寺拳法協会	2	31
22	ゴルフ	魚沼市ゴルフ協会	1	47
23	格闘技	魚沼市格闘技協会	1	22
24	空道	魚沼市空道協会	1	30
25	小学校	魚沼市小学校体育連盟		662
26	中学校	魚沼市中学校体育連盟		1,070
合 計			133	4,285

エンジョイスportsクラブ魚沼組織図



魚沼市スポーツ少年団単位団一覧

平成27年10月1日現在

種目	NO	団体名	団員数
野球	1	みつわ野球スポーツ少年団	25
	2	小出青空野球教室スポーツ少年団	51
	3	やまびこスポーツ少年団	29
	4	はやぶさスポーツ少年団	13
	5	西小ブルーウェーブスポーツ少年団	20
	6	守門ベアーズスポーツ少年団	10
剣道	7	堀之内少年剣士会スポーツ少年団	11
	8	小出剣道スポーツ少年団	48
	9	湯之谷少年剣士会スポーツ少年団	24
	10	剣柳会スポーツ少年団	18
	11	権現堂剣士会スポーツ少年団	10
	12	入広瀬剣道スポーツ少年団	8
柔道	13	小出柔道スポーツ少年団	45
	14	堀之内柔道スポーツ少年団	12
	15	広神柔道会スポーツ少年団	5
	16	守門柔道会スポーツ少年団	7
	17	入広瀬柔道スポーツ少年団	20
バレーボール	18	堀之内バレーボールスポーツ少年団	17
	19	小出バレーボールスポーツ少年団	24
	20	湯之谷バレーボールスポーツ少年団	48
	21	広神ジュニアバレースポーツ少年団	21
	22	魚沼ボーイズスポーツ少年団	19
スキー	23	堀之内スキースノボースポーツ少年団	13
	24	駒見スポーツ少年団	92
	25	湯之谷ジュニアレーシングスポーツ少年団	10
	26	魚沼ジュニアクロカンスポーツ少年団	14
	27	入広瀬アルペンスキースポーツ少年団	5
	28	入広瀬クロカンスキースポーツ少年団	2
	29	須原レーシングスポーツ少年団	15
空手	30	魚沼市空手スポーツ少年団	24
バスケットボール	31	小出バスケットボールクラブスポーツ少年団	27
	32	広神 99ers スポーツ少年団	21
	33	リトルウィングススポーツ少年団	17
	34	堀之内 LYNX (リンクス) スポーツ少年団	20
水泳	35	I S S スポーツ少年団	20
サッカー	36	F O R Z A 魚沼サッカークラブスポーツ少年団	47
ソフトテニス	37	魚沼市ソフトテニススポーツ少年団	27
少林寺	38	魚沼市少林寺拳法スポーツ少年団	21
複合型	39	双葉スポーツクラブスポーツ少年団	41
	40	あぶるまジュニアスポーツクラブ	50
ゴルフ	41	魚沼ジュニアゴルフクラブスポーツ少年団	22
陸上競技	42	魚沼 JTFC スポーツ少年団	45
合気道	43	魚沼市合気道スポーツ少年団	21
合 計			1,039

